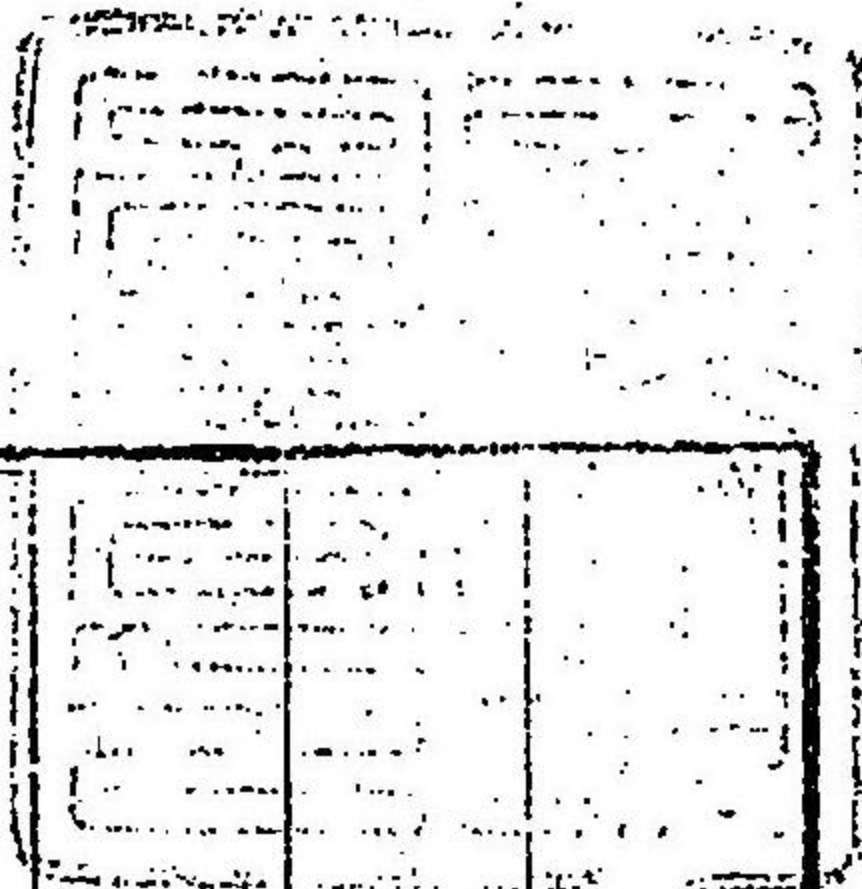


二  
刑法草案

自第一編  
至第四編

W358  
5



二回

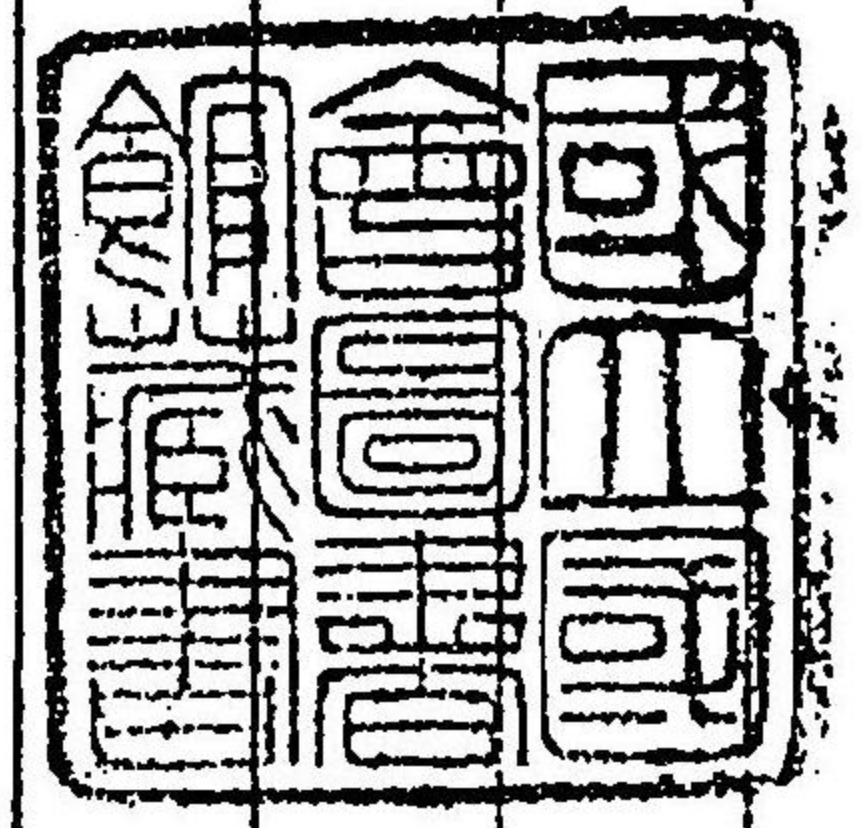
刑法草案

自第一編  
至第四編

川法部  
審判廳  
印

W358  
5

刑法草案卷之五



45.6.13  
831051

刑法

第一編 總則

第一章 法例

第一條 凡法律ニ於テ罰ス可キ罪別テ三種ト為ス

一 重罪

二 輕罪

三 違警罪

第二條 法律ニ正條ナキ者ハ何等ノ所為ト雖モ之ヲ罰スルヲ得ス

第三條 法律ハ頒布以前ニ係ル犯罪ニ及ホス  
丁ヲ得ス

若シ所犯頒布以前ニ在テ未タ判決ヲ經サレ

刑法草案卷之五

者ハ新舊ノ法ヲ比照シ輕キニ從テ處斷ス  
第四條 此刑法ハ陸海軍ニ關スル法律ヲ以テ  
論ス可キ者ニ施用スルヲ得ス

第五條 此刑法ニ正條ナクシテ他ノ法律規則  
ニ刑名アル者ハ各其法律規則ニ從フ  
若シ他ノ法律規則ニ於テ別ニ總則ヲ掲ケサ  
ル者ハ此刑法ノ總則ニ從フ

### 第二章 刑例

#### 第一節 刑名

第六條 刑ハ主刑及ヒ附加刑ト爲ス  
主刑ハ之ヲ宣告ス  
附加刑ハ法律ニ於テ其宣告スル者ト宣告セ  
ザル者トヲ定ム

第七條 左ニ記載スル者ヲ以テ重罪ノ主刑ト  
爲ス

一 死刑

二 無期徒刑

三 有期徒刑

四 無期流刑

五 有期流刑

六 重懲役

七 輕懲役

八 重禁獄

九 輕禁獄

第八條 左ニ記載スル者ヲ以テ輕罪ノ主刑ト  
爲ス

一 重禁錮

二 輕禁錮

三 罰金

第九條 左ニ記載スル者ヲ以テ違警罪ノ主刑ト為ス

一 拘留

二 科料

第十條 左ニ記載スル者ヲ以テ附加ノ刑ト為ス

一 剝奪公權

二 停止公權

三 禁治產

四 監視

五 罰金

六 沒收

第十一條 刑ヲ執行シ及ヒ犯人ヲ檢束スル方法細目ハ別ニ規則ヲ以テ之ヲ定ム

第二節 主刑處分

第十二條 死刑ハ絞首ス但規則ニ定ムル所ノ官吏臨檢シ獄内ニ於テ之ヲ行フ

第十三條 死刑ハ司法卿ノ命令アルニ非サレハ之ヲ執行ス可カラス

第十四條 大祀令節國祭ノ日ハ死刑ヲ行フヲ禁ス

第十五條 死刑ノ宣告ヲ受タル婦女懐胎ナル時ハ其執行ヲ停メ分娩後一百日ヲ經ルニ非

サレハ刑ヲ行ハス

第十六條 死刑ノ遺骸ハ親屬故舊請フ者アレハ之ヲ下付ス但式ヲ用ヒテ葬ルヲ許サス

第十七條 徒刑ハ無期有期ヲ分タス島地ノ徒場ニ入レ定役ニ服ス

有期徒刑ハ十二年以上十五年以下ト為ス

第十八條 徒刑ノ婦女内地ノ婦女ハ内地ノ婦女懲役場ニ於テ婦女相當ノ定役ニ服ス

第十九條 徒刑ノ囚六十歳ニ滿ル者ハ通常ノ定役ヲ免シ其躰力相當ノ定役ニ服ス

第二十條 流刑ハ無期有期ヲ分タス島地ノ獄内ニ幽閉シ定役ニ服セス

有期流刑ハ十二年以上十五年以下ト為ス

第二十一條 無期流刑ノ囚五年ヲ經過スレハ幽閉ヲ免シ島地ニ於テ地ヲ限リ居住セシムルヲ得

有期流刑ノ囚三年ヲ經過スル者亦同シ

第二十二條 懲役ハ内地ノ懲役場ニ入レ定役ニ服ス但六十歳ニ滿ル者ハ第十九條ノ例ニ從フ

重懲役ハ九年以上十一年以下輕懲役ハ六年以上八年以下ト為ス

第二十三條 禁獄ハ内地ノ監獄ニ入レ定役ニ服セス

重禁獄ハ九年以上十一年以下輕禁獄ハ六年以上八年以下ト為ス

第二十四條 禁錮ハ禁錮場ニ留置シ重禁錮ハ  
定役ニ服シ輕禁錮ハ定役ニ服セス

禁錮ハ重輕ヲ分タス十一日以上五年以下ト  
為シ仍ホ各本條ニ於テ其長短ヲ區別ス

第二十五條 定役ニ服スル囚人ノ作業ヨリ生  
スル利益ハ分テ三ト為シ其二分ハ獄舎ノ費  
用ニ供シ其一分ハ本犯ニ給與ス

第二十六條 罰金ハ二圓以上ト為シ各本條ニ  
於テ其多寡ヲ區別ス

第二十七條 罰金ハ裁判確定ノ日ヨリ一月内  
ニ納完セシム若シ限内納完セサル者ハ一圓  
ヲ一日ニ折算シ之ヲ輕禁錮ニ換フ但一圓ニ  
滿サル者ト雖モ仍ホ一日ニ計算ス

罰金ヲ禁錮ニ換フル者ハ更ニ裁判ヲ用ヒス  
檢事ノ求ニ因リ裁判所長之ヲ命ス

本犯又ハ親屬其他ノ者代テ罰金ヲ納ムル時  
ハ其經過シタル日數ヲ扣除シテ禁錮ヲ免ス

第二十八條 拘留ハ拘留場ニ留置シ定役ニ服  
セス其刑期ハ一日以上十日以下ト為シ仍ホ  
各本條ニ於テ其長短ヲ區別ス

第二十九條 科料ハ五錢以上一圓九十五錢以  
下ト為シ仍ホ各本條ニ於テ其多寡ヲ區別ス

第三十條 科料ハ裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ  
納完セシム若シ限内納完セサル者ハ第二十  
七條ノ例ニ照シ之ヲ拘留ニ換フ

第三節 附加刑處分

第三十一條 剥奪公權ハ左ノ權ヲ剥奪ス

一 國民ノ特權

二 官吏ト為ルノ權

三 勲章年金位記貴號恩給ヲ有スルノ權

四 外國ノ勲章ヲ佩用スルノ權

五 兵籍ニ入り及ヒ兵器ヲ攜帶スルノ權

六 證據人ト為テ公正ノ書類ニ調印シ及ヒ裁

判所ニ於テ證據ヲ申告スルノ權但單ニ事

實ヲ陳述スルハ此限ニ在ラス

七 後見人ト為ルノ權但親屬ノ許可ヲ得テ子

孫ノ為メニスルハ此限ニ在ラス

八 分散者ノ管財人ト為リ又ハ會社及ヒ共有

財産ヲ管理スルノ權

九 學校長及ヒ教師學監ト為ルノ權

第三十二條 重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ別

ニ宣告ヲ用ヒス終身前條ニ記載シタル公權

ノ全部ヲ剥奪ス

第三十三條 禁錮ニ處セラレタル者ハ別ニ宣

告ヲ用ヒス現任ノ官職ヲ失ヒ及ヒ其刑期間

第三十一條ニ記載シタル公權ヲ行フヲ停

止ス

第三十四條 禁錮ニ該ル者ハ刑期間公權ヲ停

止スルノ外其情狀ニ因リ一年以上五年以

下公權ノ全部又ハ幾分ヲ停止スルヲ

得

此條ノ停止公權ハ之ヲ宣告シ主刑ノ終リタ



ル日ヨリ起算ス

第三十五條 重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ別ニ宣告ヲ用ヒス其主刑ノ終ルマテ親カラ財産ヲ治ムルヲ禁ス但其財産ハ後見人ヲシテ之ヲ管理セシム

死刑ノ裁判確定シタル者行刑ニ至ル時間亦同シ

第三十六條 流刑ノ囚幽閉ヲ免セラレタル時ハ自ラ治産ノ禁ヲ免シタル者トス

第三十七條 重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ別ニ宣告ヲ用ヒス各本刑短期ノ三分ノ一ニ等シキ時間ノ監視ニ付ス

第三十八條 輕罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ各附加ル監視ハ之ヲ宣告ス但

本條ニ記載スルノ外監視ニ付スルヲ得ス  
第三十九條 死刑及ヒ無期刑ノ期滿免除ヲ得タル者ハ別ニ宣告ヲ用ヒス五年間ノ監視ニ付ス

第四十條 監視ノ期限ハ主刑ノ終リタル日ヨリ起算ス主刑ノ期滿免除ヲ得タル時ハ其捕ニ就キタル日ヨリ起算ス  
若シ主刑ヲ免シテ止タ監視ニ付シタル時ハ其確定ノ日ヨリ起算ス

第四十一條 監視ニ付セラレタル者其情狀ニ因リ行政ノ處分ヲ以テ假ニ監視ヲ免スルヲ得

第四十二條 附加ノ罰金ハ各本條ニ記載スル照ニ宣告シテ

ノ外之ヲ科加スルヲ得ス

附加ノ罰金ヲ納完セサル者ハ第二十七條ノ

例ニ照シ科加スル者其内ニ刑滿限ノ後之ヲ執行ス輕禁錮ニ換又

第四十三條 左ニ記載シタル物件ハ宣告シテ

官ニ沒收ス但法律規則ニ於テ別ニ沒收ノ例

ヲ定メタル者ハ各其法律規則ニ從フ

一法律ニ於テ禁制シタル物件

二犯罪ノ用ニ供シタル物件

三犯罪ニ因テ得タル物件

第四十四條 法律ニ於テ禁制シタル物件ハ何

人ノ所有ヲ問ハス之ヲ沒收ス犯罪ノ用ニ供

シ及ヒ犯罪ニ因テ得タル物件ハ犯人ノ所有

ニ係リ又ハ所有主ナキ時ノ外之ヲ沒收スル

丁ヲ得ス

第四節 徵償處分

第四十五條 刑事ノ裁判費用ハ其全部又ハ幾

分ヲ犯人ニ科ス但其費用ノ額ハ別ニ規則ヲ

以テ之ヲ定ム

第四十六條 犯人刑ニ處セラレ又ハ放免セラ

ルト雖モ被害者ノ請求ニ對シ贓物ノ還給損

害ノ賠償ヲ免カル、丁ヲ得ス其還給賠償ノ

請求ハ刑事裁判所ニ於テ民事ノ定規ニ從ヒ

之ヲ審判スル丁ヲ得

第四十七條 數人共犯ニ係ル裁判費用贓物ノ

還給損害ノ賠償ハ共犯人ヲシテ之ヲ連帶セ

シム

第五節 刑期計算

第四十八條 刑期ヲ計算スルニ一日ト稱スルハ二十四時ヲ以テシ一月ト稱スルハ三十日ヲ以テシ一年ト稱スルハ曆ニ從フ

受刑ノ初日ハ時間ヲ論セス一日ニ算入シ放免ノ日ハ刑期ニ算入セス

第四十九條 刑ハ裁判確定シタル後ニ非サレハ之ヲ執行ス可カラズ

第五十條 刑期ハ裁判確定シ本犯ノ自由ヲ停止シタル日ヨリ起算ス

若シ糾問中入監シタル者ハ左ノ區別ニ從テ其日數ヲ刑期ニ算入ス

一 輕禁錮ニ該ル者ハ入監日數ノ四分ノ三

二 重禁錮ニ該ル者ハ入監日數ノ半

三 重罪ニ該ル者ハ入監日數ノ三分ノ一

第五十一條 刑期限内逃走シ再ヒ捕ニ就ク者ハ其逃走ノ日數ヲ除キ前後受刑ノ日ヲ計算ス

第六節 假出獄

第五十二條 重罪輕罪ノ刑ニ處セラレタル者獄則ヲ謹守シ悔改ノ狀アリ時ハ其刑期四分ノ三ヲ經過スルノ後行政ノ處分ヲ以テ假ニ出獄ヲ許スヲ得

無期徒刑ニ處セラレタル者十五年ヲ經過スルノ後亦同シ

流刑ノ囚ハ第二十一條ニ照シ幽閉ヲ免スル

ノ外假出ノ例ヲ用ヒス

第五十三條 徒刑ノ囚ハ假出獄ヲ許サレタル者ハ仍

ホ島地ニ居住セシム

第五十四條 假出獄ヲ許サレタル時ハ自ラ治

産ノ禁ヲ免レタル者トス但本刑期限内特別

ニ定メタル監視ニ付ス

第五十五條 假出獄中更ニ重罪輕罪ヲ犯シタ

ル者ハ直チニ出獄ヲ停止シ出獄中ノ日數ハ

刑期ニ算入スルヲ得ス

第五十六條 刑期間更ニ重罪輕罪ヲ犯シタル

者ハ假出獄ヲ許サス

第七節 期滿免除

第五十七條 期滿免除ハ刑ノ執行ヲ適レタル

者法律ニ定メタル期限ヲ經過スルニ因テ免

除ヲ得ル者トス

第五十八條 主刑ハ左ノ年限ニ從テ期滿免除

ヲ得

一死刑ハ三十年

二無期徒刑ハ二十五年

三有期徒刑ハ二十年

四重懲役重禁獄ハ十五年

五輕懲役輕禁獄ハ十年

六禁錮罰金ハ七年

七拘留科料ハ一年

第五十九條 剥奪公權停止公權及ヒ監視ハ期

滿免除ヲ得ス



タル者トス

第六十四條 大赦特赦減輕赦及ヒ復權ハ勅裁ニ非サレハ之ヲ施行ス可カラス

第三章 加減例

第六十五條 法律ニ於テ刑ヲ加重減輕ス可キ者ハ後ノ數條ニ記載シタル例ニ照シテ加減ス但加ヘテ死刑ニ入ルヲ得ス

第六十六條 重罪ノ刑ハ左ノ等級ニ照シテ加重ス

一 死刑

二 無期徒刑

三 有期徒刑

四 重懲役

五 輕懲役

第六十七條 國事ニ關スル重罪ノ刑ハ左ノ等級ニ照シテ加減ス

一 死刑

二 無期流刑

三 有期徒刑

四 重禁獄

五 輕禁獄

第六十八條 輕懲役ニ該ル者減輕ス可キ時ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處スルヲ以テ一等ト為ス

輕禁獄ニ該ル者減輕ス可キ時ハ二年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處スルヲ以テ一等ト為ス

第六十九條 禁錮罰金ニ該ル者減輕ス可キ時ハ各本條ニ記載シタル刑期金額ノ四分ノ一ヲ減スルヲ以テ一等ト為シ其加重ス可キ時モ亦四分ノ一ヲ加フルヲ以テ一等ト為ス  
輕罪ノ刑ハ加ヘテ重罪ニ入ル丁ヲ得ス但禁錮ノ刑期ハ加ヘテ七年ニ至ル丁ヲ得

第七十條 禁錮ヲ減盡シタル時ハ拘留ニ處シ

罰金ヲ減盡シタル時ハ科料ニ處ス禁錮罰金ヲ減盡シタル時ハ科料ニ處ス禁錮罰金ヲ減盡シタル時ハ科料ニ處ス禁錮罰金ヲ減盡シタル時ハ科料ニ處ス  
第七十一條 拘留科料ニ該ル者加重ス可キ時ハ禁錮罰金ノ例ニ照シ其四分ノ一ヲ加減スルヲ以テ一等ト為ス

違警罪ノ刑ハ加ヘテ輕罪ニ入ル丁ヲ得ス但拘留ノ刑期ハ加ヘテ十二日ニ至ル丁ヲ得減

シテ一日以下ニ降ス丁ヲ得ス  
科料ハ加ヘテ二圓四十錢ニ至ル丁ヲ得減シテ五錢以下ニ降ス丁ヲ得ス

第七十二條 禁錮拘留ヲ加減スルニ因テ其期限ニ零數ヲ生シ一日ニ滿サル者ハ之ヲ除棄ス

第七十三條 附加ノ罰金ハ主刑ニ從テ加減シ其金額ノ四分ノ一ヲ加減スルヲ以テ一等ト為ス若シ減盡シタル時ハ止テ主刑ヲ科ス

第四章 不論罪及ヒ減輕  
第一節 不論罪及ヒ宥恕減輕

第七十四條 抗拒ス可カラサル強制ニ遇ヒ其意ニ非サルノ所為ハ其罪ヲ論セス

刑罰法 第六十九條

天災又ハ意外ノ變ニ因テ避ク可カラサル危  
難ニ遇ヒ自己若クハ親屬ノ身軀ヲ防衛スル  
ニ出タル所為亦同シ

第七十五條 本屬長官ノ命令ニ從ヒ其職務ヲ  
以テ為シタル者ハ其罪ヲ論セス

第七十六條 罪ヲ犯ス意ナキノ所為ハ其罪ヲ  
論セス但法律ニ於テ別ニ疎虞懈怠ノ罪ヲ定  
メタル者ハ此限ニ在ラス

罪ト為ル可キ事實ヲ知ラスシテ犯シタル者  
ハ其罪ヲ論セス

罪本重カル可クシテ犯ス時知ラサル者ハ其  
重キニ從テ論スルヲ得ス

法律規則ヲ知ラサルヲ以テ犯スノ意ナシト

為スルヲ得ス

第七十七條 罪ヲ犯ス時知覺精神ノ喪失ニ因  
テ是非ヲ辨別セザル者ハ其罪ヲ論セス

第七十八條 罪ヲ犯ス時十二歳ニ滿サル者ハ  
其罪ヲ論セス但滿八歳以上ノ者ハ其情狀ニ  
因リ特別ニ設ケタル懲治場ニ拘置スルヲ

得其期限ハ滿十六歳ニ過ルヲ得ス

第七十九條 罪ヲ犯ス時滿十二歳以上十六歳  
ニ滿サル者ハ其所為是非ヲ辨別シタルト否

トヲ審案シ辨別ナクシテ犯シタル時ハ其罪  
ヲ論セス但前條ノ例ニ照シ滿二十歳ニ至ル

マテ懲治場ニ拘置スルヲ得  
若シ辨別アリテ犯シタル時ハ其罪ヲ宥恕シ



テ本刑ニ二等ヲ減ス

第八十條 罪ヲ犯ス時満十六歳以上二十歳ニ

満ナル者ハ其罪ヲ宥恕シテ本刑ニ一等ヲ減

ス

第八十一條 瘖啞ノ者罪ヲ犯シタル時ハ其罪

ヲ論セス但其情狀ニ因リ五年以下ノ時間之

ヲ懲治場ニ拘置スルヲ得

第八十二條 違警罪ハ満十六歳以上二十歳ニ

満ナル者ト雖モ其罪ヲ宥恕スルヲ得ス

満十二歳以上十六歳ニ満ナル者ハ宥恕シテ

一等ヲ減ス十二歳ニ満ナル者及ヒ瘖啞者ハ

其罪ヲ論セス

第八十三條 此節ニ記載スルノ外特別ノ不

罪宥恕減輕ハ各本條ニ於テ之ヲ記載ス

第二節 自首減輕

第八十四條 罪ヲ犯シ事未タ發覺セサル前ニ

於テ官ニ自首シタル者ハ本刑ニ一等ヲ減ス

但謀故殺ニ係ル者ハ減等ノ限ニ在ラス

第八十五條 財産物件ニ對スル罪ヲ犯シタル

者自首シテ其贓物ノ全部ヲ還給シ其損害ヲ

賠償シタル時ハ自首減等ノ外仍ホ本刑ニ二

等ヲ減ス其全部ヲ還償セスト雖モ半數以上

ヲ還償シタル時ハ仍ホ一等ヲ減ス

第八十六條 財産物件ニ對スル罪ヲ犯シ被害

者ニ首服シタル者ハ官ニ自首スルト同ク前

二條ノ例ニ照シテ處斷ス

第八十七條 此節ニ記載スルノ外本條別ニ自首ノ例ヲ掲ケタル者ハ各其本條ニ從フ

第三節 酌量減輕

第八十八條 重罪輕罪違警罪ヲ分タス所犯情狀原諒ス可キ者ハ酌量シテ本刑ヲ減輕スル  
丁ヲ得

法律ニ於テ本刑ヲ加重シ又ハ減輕ス可キ者ト雖モ其酌量ス可キ時ハ仍ホ之ヲ減輕スル  
丁ヲ得

第八十九條 酌量減輕ス可キ者ハ本刑ニ一等又ハ二等ヲ減ス

第五章 再犯加重

第九十條 先ニ重罪ノ刑ニ處セラレタル者再

犯重罪ニ該ル時ハ本刑ニ一等ヲ加フ

第九十一條 先ニ重罪輕罪ノ刑ニ處セラレタル者再犯輕罪ニ該ル時ハ本刑ニ一等ヲ加フ

第九十二條 先ニ違警罪ノ刑ニ處セラレタル者再犯違警罪ニ該ル時ハ本刑ニ一等ヲ加フ

但一年内再ヒ其違警罪裁判所ノ管轄内ニ於テ犯シタル時ニ非サレハ再犯ヲ以テ論スル  
丁ヲ得

第九十三條 再犯加重ハ初犯ノ裁判確定ノ後ニ非サレハ之ヲ論スル丁ヲ得ス

第九十四條 刑期限内再ヒ罪ヲ犯スニ因リ刑ヲ宣告シタル時ハ先ツ其定役ニ服ス可キ者ヲ執行シ定役ニ服セサル者ヲ後ニス若シ初

犯再犯共ニ定役ニ服スル刑ニ該ル時又ハ共ニ定役ニ服セサル刑ニ該ル時ハ先ツ其重キ者ヲ執行ス

其罰金科料ニ該ル者ハ前項順序ニ拘ラス各初犯再犯各自之ヲ科ス

第九十五條 陸海軍裁判所ニ於テ處決ヲ經タル者再ヒ重罪輕罪ヲ犯シタル時ハ初犯ノ罪常律ニ從ヒ處斷シタル者ニ非サレハ再犯ヲ以テ論スルヲ得ス

第九十六條 大赦ニ因テ免罪ヲ得タル者ハ再ヒ罪ヲ犯スト雖モ再犯ヲ以テ論スルヲ得ス

第九十七條 三犯以上ノ者ト雖モ其加重ノ法

ハ再犯ノ例ニ同シ

### 第六章 加減順序

第九十八條 犯罪ノ情狀ニ因リ總則ニ照シ同時ニ本刑ヲ加重減輕ス可キ時ハ左ノ順序ニ從テ其刑名ヲ定ム但各本條ニ記載スル特別ノ加重減輕ハ其加減シタル者ヲ以テ本刑ト為ス

一 減輕

二 加重

三 酌量減輕

### 第七章 數罪俱發

第九十九條 重罪輕罪ヲ犯シ未タ判決ヲ經スニ罪以上俱ニ發スル時ハ一ノ重キニ從テ處

斷ス

第百條 輕罪ノ刑ハ各條ニ於テ區別アリト雖モ其長短輕重均一ナラザルヲ以テ二罪以上俱發スル時ハ其所犯情狀最重ノ者ニ後テ處斷ス

第百一條 違警罪二罪以上俱ニ發スル時ハ各自ニ其刑ヲ科ス若シ重罪又ハ輕罪ト俱ニ發スル時ハ一ノ重キニ後フ

第百二條 一罪前ニ發シ已ニ判決ヲ經テ餘罪後ニ發シ其輕ク若クハ等キ者ハ之ヲ論セス其重キ者ハ更ニ之ヲ論シ前發ノ刑ヲ以テ後發ノ刑ニ算入ス

但前發ノ刑罰金科料ニ該リ已ニ納完シタル

者ハ第百二十七條ノ例ニ照シ折算シテ後發ノ刑期ニ算入ス

第百三條 數罪俱ニ發シ一ノ重キニ後フ時ト雖モ其沒收及ヒ徵償ノ處分ハ各本法ニ後フ

### 第八章 數人共犯

#### 第一節 正犯

第百四條 二人以上現ニ罪ヲ犯シタル者ハ皆正犯ト為シ各自ニ其刑ヲ科ス

第百五條 詐欺脅迫贈與結約成權其他故意ヲ以テ人ヲ教唆シテ重罪輕罪ヲ犯サシメタル者亦正犯ト為ス

論說ヲ公衆ニ演述シ若クハ文書ヲ刊行公布シ人ヲ教唆シテ重罪輕罪ヲ犯サシメタル者

亦同之但法律ニ於テ別ニ教唆者ノ刑ヲ加重シ又ハ教唆ニ止ル者ヲ罰スル各其法律ニ從フ

第六條 正犯ノ身分ニ因リ別ニ刑ヲ加重ス可キ時ハ他ノ正犯後犯及ヒ教唆者ニ及ホス

第七條 教唆者ハ正犯ト為シテ論スト雖モ犯人ノ多數ニ因リ刑ヲ加重ス可キ時ハ其現ニ行フ所ノ正犯ニ算入シテ多數ト為ス

第八條 事ヲ指定シテ犯罪ヲ教唆スルニ當リ犯人教唆ニ乘シ其指定シタル以外ノ罪ヲ犯シ又ハ其現ニ行フ所ノ方法教唆者ノ指示

シタル所ト殊ナル時ハ左ノ例ニ照シ教唆者ヲ處斷ス

一 所犯教唆シタル罪ヨリ重キ時ハ止テ其指定シタル罪ニ從テ刑ヲ科ス

二 所犯教唆シタル罪ヨリ輕キ時ハ現ニ行フ所ノ罪ニ從テ刑ヲ科ス

第二節 後犯

第九條 犯罪ノ情ヲ知テ器具ヲ給與シ又ハ誘導指示シ其他豫備ノ所為ヲ以テ正犯ヲ幫助シ犯罪ヲ容易ナラシメタル者ハ後犯ト為シ正犯ノ刑ニ一等ヲ減ス

第十條 身分ニ因リ刑ヲ加重ス可キ者後犯ト為ル時ハ其重キニ從テ一等ヲ減ス

正犯ノ身分ニ因リ刑ヲ减免ス可キ時ト雖モ  
後犯ノ刑ハ其輕キニ從テ减免スルヲ得ス

第九章 未遂犯罪

第百十一條 罪ヲ犯サシトシテ謀リ又ハ其豫備  
ヲ為スト雖モ未タ其事ヲ行ハサル者ハ本條  
別ニ刑名ヲ記載スルニ非サレハ其刑ヲ科セ  
ス

第百十二條 罪ヲ犯サシトシテ已ニ其事ヲ行  
フト雖モ本犯意外ノ障礙若クハ舛錯ニ因リ  
未タ遂ケサル時ハ已ニ遂ケタル者ノ刑ニ一  
等又ハ二等ヲ減ス

第百十三條 輕罪ヲ犯サシトシテ未タ遂ケサ  
ル者ハ本條別ニ記載スルニ非サレハ前條ノ

例ニ照シ其罪ヲ論スルヲ得ス

第百十四條 違警罪ヲ犯サシトシテ未タ遂ケ

サル者ハ其罪ヲ論セス

第十章 親屬例

第百十五條 此刑法ニ於テ親屬ト稱スルハ左  
ニ記載シタル本宗及ヒ姻族ノ親ヲ云フ但本  
條別ニ親屬ノ目ヲ掲ケタル者ハ此限ニ在ラ  
ス

一 夫婦祖父母父母

二 配偶者ノ祖父母父母

三 子孫及ヒ其配偶者

四 兄弟姊妹伯叔父姑舅姨姪甥及ヒ其配偶者

五 配偶者ノ兄弟姊妹伯叔父姑舅姨姪甥

六婦ノ前夫ノ子

刑部省

第二編 公益ニ関スル重罪輕罪

第一章 皇室ニ對スル罪

第百十六條 至尊三宮及ヒ東宮ニ對シ危害ヲ加ヘ又ハ加ヘントシタル者ハ死刑ニ處ス

第百十七條 至尊上皇三宮及ヒ東宮ニ對シ不敬ノ所為アル者ハ三月以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第百十八條 皇族ニ對シ危害ヲ加ヘタル者ハ死刑ニ處ス其危害ヲ加ヘジトシタル者ハ無期徒刑ニ處ス

第百十九條 皇族ニ對シ不敬ノ所為アル者ハ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第百二十條 此章ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ一年以下ノ監視ニ付ス

第二章 國事ニ関スル罪

第一節 内乱ニ関スル罪

第百二十一條 政府ヲ顛覆シ又ハ邦土ヲ僭竊シ其他朝憲ヲ紊乱スルトヲ目的ト為シ内乱ヲ起シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處断ス

- 一 首魁及ヒ其教唆者ハ死刑ニ處ス
- 二 群衆ノ指揮ヲ為シ其他樞要ノ職務ヲ為シタル者ハ無期流刑ニ處シ其情輕キ者ハ有期流刑ニ處ス
- 三 兵器金穀ヲ資給シタル者又ハ諸般ノ職務ヲ為シタル者ハ重禁錮ニ處シ其情輕キ者

ハ輕禁錮ニ處ス  
四 教唆ニ乘シテ附加隨行シ又ハ指揮ヲ受ケテ雜役ニ供シタル者ハ二年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處ス

第百二十二條 内乱ヲ起スノ目的ヲ以テ兵器彈藥船舶金穀其他軍備ノ物品ヲ劫掠シタル者ハ己ニ内乱ヲ起シタル者ト同刑ニ處ス

第百二十三條 政府ヲ變乱スルノ目的ヲ以テ人ヲ謀殺シタル者ハ兵ヲ擧ルニ至ラスト雖モ内乱ト同ク論シ其教唆者及ヒ下手者ヲ以テ死刑ニ處ス

第百二十四條 前三條ニ記載シタル罪ハ未遂犯罪ノ時ニ於テ乃テ本刑ヲ科ス



第百二十五條 兵隊ヲ招募シ又ハ兵器金穀ヲ準備シ其他内乱ノ豫備ヲ為シタル者ハ第百二十一條ノ刑ニ照シ各一等ヲ減ス其豫備ニ至ラスト雖モ内乱ノ陰謀ヲ為シタル者ハ各二等ヲ減ス

第百二十六條 内乱ヲ豫備陰謀ヲ為スト雖モ未タ其事ヲ行ハサル前ニ於テ官ニ自首シタル者ハ本刑ヲ免シ三年以下ノ監視ニ付ス

第百二十七條 内乱ノ前後ニ於テ情ヲ知テ犯人ニ聚會所ヲ與ヘ又ハ犯人ヲ隠匿シタル者ハ二年以上五年以下ノ輕禁獄ニ處ス但犯人ノ親屬ニ係ル時ハ其罪ヲ論セス

第百二十八條 内乱ニ乘シテ人ノ身體財産ニ

對シ内乱ノ目的ニ関セサル重罪輕罪ヲ犯シタル者ハ通常ノ刑ニ照シ重キニ從テ處断ス

第二節 外患ニ関スル罪

第百二十九條 外國ニ與シテ本國ニ抗敵シ又ハ外國ノ交戦中同盟國ニ抗敵シ其他本國ニ背叛シテ敵兵ニ附屬シタル者ハ死刑ニ處ス

第百三十條 交戦中敵兵ヲ誘導シテ本國管内ニ入ラシメ若クハ本國及ヒ同盟國ノ都府城塞又ハ兵器彈藥船艦其他軍事ニ関スル土地家屋物件ヲ敵國ニ交付シタル者ハ死刑ニ處ス

第百三十一條 本國及ヒ同盟國ノ軍情ノ機密ヲ敵國ニ漏泄シ若クハ兵隊屯集ノ要地又ハ

道路ノ險夷其他軍事ノ景況ヲ敵國ニ通知シタル者ハ無期流刑ニ處ス

敵國ノ間謀ヲ内地ニ誘導シ又ハ之ヲ藏匿シタル者ハ又同シ

第三百十二條 陸海軍ヨリ委任ヲ受ケ物品ヲ供給シ及ヒ工作ヲ為ス者交戦ノ際敵國ニ通謀シ又ハ其賂遺ヲ收受シテ故サラニ命令ニ

違背シ軍備ノ缺乏ヲ致シタル時ハ有期流刑ニ處ス

第三百十三條 外國ニ對シ私ニ戰端ヲ開キタル者ハ有期流刑ニ處ス豫備ニ止ル者ハ一等

又ハ二等ヲ減ス

第三百十四條 外國交戦ノ際本國ニ於テ局外

中立ヲ布告シタル時其布告ニ違背シタル者

ハ六月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百十五條 此章ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ一年以下ノ監視ニ付ス

第三章 靜謐ヲ害スル罪

第一節 兇徒聚衆ノ罪

第三百十六條 兇徒多衆ヲ嘯聚シテ暴動ヲ謀リ官吏ノ説諭ヲ受ルト雖モ仍ホ解散セサル

者首魁及ヒ教唆者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス其餘ノ附従ハ二圓以上五圓以下ノ罰金ニ處ス

第三百十七條 兇徒多衆ヲ嘯聚シテ官廳ニ喧

開シ官吏ニ強逼シ又ハ村市ヲ騷擾シ其他暴動ヲ為シタル者首魁及ヒ教唆者ハ重懲役ニ處ス其嘯聚ニ應シ煽動シテ勢ヲ助ル者ハ輕懲役ニ處シ其情輕キ者ハ一等ヲ減ス附和隨行スル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第百三十八條 暴動ノ際人ヲ殺死シ若クハ家船舶倉庫等ヲ燒燬シタル時ハ現ニ手ヲ下シ及ヒ火ヲ放ツ者ヲ以テ死刑ニ處ス首魁及ヒ教唆者ハ情ヲ知ラスト雖モ有期徒刑ニ處ス

第二節 官吏ノ職務ヲ行フヲ妨害スル罪

第百三十九條 官吏其職務ヲ以テ法律規則ヲ

執行シ又ハ行政司法官署ノ命令ヲ執行スルニ當リ暴行脅迫ヲ以テ其官吏ニ抗拒シタル者ハ四月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス  
暴行脅迫ヲ以テ其官吏ノ為ス可カラサル事件ヲ行ハシメタル者亦同シ

第百四十條 前條ノ罪ヲ犯シ因テ官吏ヲ毆傷シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ一等ヲ加ヘ重キニ從テ處断ス

第百四十一條 官吏ノ職務ニ對シ其目前ニ於テ形容若クハ言語ヲ以テ侮辱シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

其目前ニ非ラスト雖モ刊行ノ文書圖畫又ハ公然ノ演説ヲ以テ侮辱シタル者亦同シ

第百四十二條 文書演説其他ノ方法ヲ以テ官吏ノ職務ニ於テ不正ノ所為アリト讒毀シタル者其事實ヲ證明スルト能ハサル時ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス但其職務ニ関セサル事件ニ係ル者ハ第

條ノ例ニ從フ

第三節 囚徒逃走ノ罪及ヒ罪人ヲ藏匿スル罪

第百四十三條 已決ノ囚徒逃走シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス

差シ獄舎獄具ヲ毀壞シ又ハ暴行脅迫ヲ為シ

テ逃走シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁獄ニ處ス但無期徒刑ノ囚徒此條ノ罪ヲ犯シタル時ハ獄則ニ依テ處分ス

第百四十四條 已決囚徒逃走ノ罪ヲ犯スト雖モ再犯ノ例ニ照シ加重ス可カラズ其刑期内再ニ逃走シタル者ハ再犯ヲ以テ論ス

第百四十五條 未決ノ囚徒入監中逃走シタル者ハ第百四十五條ノ刑ニ同シ但原犯ノ罪判決ノ時ニ於テ數罪俱發ノ例ニ照シ處断ス

第百四十六條 已決未決ノ囚徒三人以上通謀シテ逃走シタル時ハ

シテ逃走シタル時ハ

シ各一等ヲ加フ

第百四十七條 囚徒ヲ逃走セシムル為メ兇器

ヲ持シテ逃走セシムル者ハ

第百四十八條 囚徒ヲ逃走セシムル者ハ

其他ノ器具ヲ與ヘ又ハ逃走ノ方法ヲ授ケタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス因テ囚徒ノ逃走ヲ致シタル時ハ一等ヲ加フ

第百四十八條 囚徒ヲ劫奪シ又ハ暴行脅迫ヲ以テ囚徒ノ逃走ヲ助ケタル者ハ一年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

若シ重罪ノ刑ニ處セラレタル囚徒ニ係ル時ハ輕懲役ニ處ス

第百四十九條 囚徒ノ看守又ハ護送ノ任アル者囚徒ニ通謀シ若クハ故意ヲ以テ逃走セシメタル時ハ前條ノ刑ニ同シ

第百五十條 看守又ハ護送者其懈怠ニ因リ囚徒ノ逃走ヲ覺ラサル時ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

若シ重罪ノ刑ニ處セラレタル囚徒ニ係ル時ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第百五十一條 已決未決ノ囚徒又ハ監視ニ付

セラレタル者及ヒ發覺シタル犯人ノ逃走ヲ知テ故サラニ之ヲ藏匿シ若クハ隠避セシメタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

若シ重罪ノ刑ニ處セラレタル囚徒ナルヲ知テ藏匿シ又ハ隠避セシメタル時ハ一等ヲ加フ

第百五十二條 他人ノ罪ヲ免カレシメンコトヲ

圖リ謀故殺其他罪證ト爲ル可キ死屍ヲ隠蔽

シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處

シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第百五十三條 前二條ノ罪ヲ犯シタル者若シ

本犯ノ親屬ニ係ル時ハ其罪ヲ論セス

第百五十四條 此節ニ記載シタル輕罪ヲ犯サ

ントシテ未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ

照シテ處断ス

第四節 附加刑ノ執行ヲ通ルノ罪

第百五十五條 剝奪公權又ハ停止公權ノ刑ニ

處セラレタル者私ニ其權ヲ行ヒタル時ハ一

月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上十

圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第百五十六條 監視ニ付セラレタル者其規則

ニ違背シタル時ハ十五日以上六月以下ノ重

禁錮ニ處ス

第百五十七條 前二條ノ罪ハ其刑期内再ヒ犯

シタル時ニ非サレハ再犯ヲ以テ論ス可カラ

ス

第五節 私ニ兵器彈藥ヲ製造シ及ヒ所

有スル罪

第百五十八條 官命ヲ受ヌ又ハ官許ヲ得ヌシ

テ陸海軍ノ用ニ供スル兵器彈藥ヲ製造シ又

ハ私ニ製造ス可カラサル破裂質ノ物品ヲ製

造シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ

處シ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ附加ス  
其之ヲ輸入シタル者亦同シ

前項ノ物ヲ私ニ販賣シタル者ハ一月以上  
一年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下  
ノ罰金ヲ附加ス

第百五十九條 前條ノ犯罪ニ関スト雖モ職工  
又ハ雇人ニシテ止々正犯ノ使令ニ供シタル  
者ハ各本刑ニ照シ二等ヲ減ス

第百六十條 前二條ノ罪ヲ犯サントシテ未々  
遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處断ス

第百六十一條 第百五十八條ニ記載シタル物  
品ヲ私ニ所有シタル者ハ二圓以上二十圓以  
下ノ罰金ニ處ス

第百六十二條 第百五十八條ニ記載シタル物

品ノ製造ニ供シタル器械ニシテ單ニ其用ニ  
供ス可キ者ハ何人ノ所有ニ係ルヲ問ハス皆  
之ヲ沒收ス

第六節 往來通信ヲ妨害スル罪

第百六十三條 故意ヲ以テ道路橋梁河溝港埠  
ヲ損壞シテ往來ヲ妨害シタル者ハ二月以上  
二年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以  
下ノ罰金ヲ附加ス

第百六十四條 偽計又ハ威力ヲ以テ郵便ヲ妨  
害シ若クハ之ヲ阻止シタル者ハ前條ノ刑ニ  
同シ

第百六十五條 故意ヲ以テ電信ノ器械柱木ヲ

損壞シ又ハ條線ヲ切斷シ電氣ヲ不通ニ致シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

若シ器械柱木等ヲ損壞シテ電信ノ妨害ヲ為スト雖モ不通ニ至ラサル者ハ一等ヲ減ス

第百六十六條 瀛車ノ往來ヲ妨害スル為メ鐵道及ヒ其標識ヲ損壞シ其他危險ナル障礙ヲ為シタル者ハ重懲役ニ處ス

第百六十七條 船舶ノ往來ヲ妨害スル為メ燈臺浮標其他航海ノ安寧ヲ保護スル標識ヲ損壞シ又詐偽ノ標識ヲ點示シタル者ハ前條ノ刑ニ同シ

第百六十八條 前數條ニ記載シタル罪若シ其

事務ニ關スル官吏及ヒ雇人職工自ラ犯シタル時ハ各本條ノ刑ニ照シ一等ヲ加フ

第百六十九條 第百六十三條ニ記載シタル罪ヲ犯シ因テ人ヲ殺傷シタル者ハ豫メ謀テ毆打創傷スルノ刑ニ照シ重キニ從テ處斷ス

若シ第百六十六條第百六十七條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死ニ致シタル者ハ死刑ニ處ス

第百七十條 此節ニ記載シタル輕罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

第七節 人ノ住所ヲ侵ス罪

第百七十一條 晝間故ナク人ノ住居シタル邸宅内ニ入りタル者ハ十一日以上三月以下ノ



重禁錮ニ處ス

若シ左ニ記載シタル所為アル者ハ一等ヲ加フ

一家屋内ニ潜伏シタル時

二門戸牆塼ヲ踰越損壞シ又ハ鎖鑰ヲ開キテ入りタル時

三定器其他犯罪ノ用ニ供フ可キ物品ヲ持シタル時

四暴行ヲ為シテ入りタル時

五二人以上ニテ入りタル時

第百七十二條 夜間故ナク人ノ住居シタル邸

宅ニ入りタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス

若シ前條ニ記載シタル所為アル者ハ一等ヲ加フ

第百七十三條 故ナク官署及ヒ人ノ看守シタル

公立ノ館舎社寺等ニ入りタル者ハ前條ノ例ニ同シ

若シ故ナク皇居禁苑離宮行在所及ヒ山陵内

ニ入りタル者ハ各一等ヲ加フ

第八節 官ノ封印ヲ破棄スル罪

第百七十四條 官署ノ處分ニ因リ特別ニ家屋

倉庫其他ノ物件ニ施シタル封印ヲ破棄シタ

ル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス

若シ監守者自ラ犯シタル時ハ一等ヲ加フ

第百七十五條 官ノ封印ヲ破棄シテ其物件ヲ

盜取又ハ毀壞シタル者ハ盜罪及ヒ毀壞ノ各

本條ニ照シ重キニ從テ處断ス

第百七十六條 監守者ニ急ニ因テ封印ヲ破棄

シ又ハ其物件ヲ盜取毀壞スル犯人アルヲ覺ラ  
サル時ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第九節 公務ヲ行フヲ拒ム罪

第百七十七條 陸海軍ノ將校タル者行政官署

ヨリ出兵ノ要求ヲ受ケ之ヲ肯ンセサル時ハ

二月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓以上

五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第百七十八條 陸海軍ノ徵兵ニ編入セラル可キ者

身躰ヲ毀傷シテ疾病ヲ作為シ其他詐偽ノ所為ヲ以

テ免役ヲ圖リタル時ハ一月以上一年以下ノ重禁錮

ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

若シ他人ニ囑託シ其姓名ヲ詐稱シ代テ徵募

ニ應セシメタル者亦同シ其囑託ヲ受テ徵募

ニ應シタル者ハ第二百三十一條ノ例ニ照シ

テ處断ス

第百七十九條 醫師化學家其他職業ニ因テ官

署ヨリ解剖監定又ハ検査ヲ為スヲ命セラ

レタル者故ナクシテ之ヲ肯ンセサル時ハ四

圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處ス

第百八十條 裁判所ヨリ證人トシテ證據ヲ

陳述スルヲ命セラレタル者故ナクシテ之

ヲ肯ンセサル時ハ二圓以上二十圓以下ノ罰

金ニ處ス

第百八十一條 傳染病流行ノ際又ハ傳染病ノ疑

アル船舶ノ入港スルニ當リ醫師其病患ヲ檢

査シ又ハ消滅ノ方法ヲ陳述スルヲ命セラ

レタル者故ナクシテ之ヲ肯ンセサル時ハ五  
圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス  
獸類傳染病流行ノ際獸醫此條ノ罪ヲ犯シタ  
ル者ハ一等ヲ減ス

第四章 一般ノ信用ヲ害スル罪

第一節 貨幣ヲ偽造スル罪

第百八十二條 内國通用ノ金銀貨及ヒ紙幣ヲ  
偽造シテ行使シタル者ハ無期徒刑ニ處ス  
若シ貨幣ヲ變造シテ其價額量目ヲ増減シ行  
使シタル者ハ輕懲役ニ處ス

第百八十三條 内國ニ於テ通用スル外國ノ金  
銀貨ヲ偽造シテ行使シタル者ハ有期徒刑ニ  
處ス

若シ變造シテ行使シタル者ハ二年以上五年  
以下ノ重禁錮ニ處シ二十圓以上五十圓以下  
ノ罰金ヲ附加ス

第百八十四條 官許ヲ得テ發行スル銀行ノ紙  
幣ヲ偽造若クハ變造シテ行使シタル者ハ内  
外國ノ區別ニ從ヒ前二條ノ例ニ照シ處断ス  
第百八十五條 内國通用ノ銅貨ヲ偽造シテ行  
使シタル者ハ輕懲役ニ處ス

若シ變造シテ行使シタル者ハ六月以上二年  
以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ  
罰金ヲ附加ス

第百八十六條 前數條ニ記載シタル貨幣ノ偽  
造變造已ニ成テ未タ行使セサル者ハ各本刑

ニ照シ一等ヲ減シ其未タ成ラサル者ハ各二  
等ヲ減ス

若シ偽造ノ器械ヲ豫備シテ未タ着手セサル  
者ハ各三等ヲ減ス

第百八十七條 貨幣ヲ偽造變造スルノ情ヲ知  
テ雇ヲ受ケタル職工ハ前數條ニ記載シタル

本犯ノ受ク可キ刑ニ照シ各一等ヲ減ス  
若シ職工ノ補助ヲ為シテ雜役ニ供シタル者

ハ職工ノ刑ニ照シ一等又ハ二等ヲ減ス  
第百八十八條 貨幣ヲ偽造變造スルノ情ヲ知  
テ房屋ヲ給與シタル者ハ偽造變造ノ各本刑

ニ照シ二等ヲ減ス  
第百八十九條 偽造變造ノ貨幣ヲ内國ニ輸入

シタル者ハ偽造變造ノ本犯ト同ク論ス

第百九十一條 情ヲ知テ偽造變造ノ貨幣ヲ取  
受シテ行使シタル者ハ偽造變造シテ行使

タル者ノ刑ニ照シ二等ヲ減ス  
其未タ行使セサル者ハ三等ヲ減ス

第百九十一條 前數條ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕  
罪ノ刑ニ處スル者ハ一年以下ノ監視ニ付ス

第百九十二條 貨幣ヲ偽造變造シ及ヒ輸入取  
受シタル者未タ行使セサル前ニ於テ官ニ自

首シタル時ハ本刑ヲ免シ三年以下ノ監視ニ  
付ス  
本犯首免ヲ得タル時ハ其職工雜役及ヒ房屋

ヲ給與シタル者並ニ本刑ヲ免シ一年以下ノ

監視ニ付ス若シ職工雜役及ヒ房屋ヲ給與シタル者自首シタル時ハ本刑ヲ免シ監視ニ付セス

第百九十三條 貨幣ヲ收受スルノ後ニ於テ始テ偽造又ハ變造ナルヲ知テ之ヲ行使シタル者ハ其價額ニ倍ノ罰金ニ處ス但其罰金ハ二圓ヨリ降ストヲ得ス

第百九十四條 偽造變造ノ貨幣及ヒ其用ニ供シタル器械ハ何人ノ所有ナルヲ問ハス皆之ヲ沒收ス其偽貨ト交換シタル金額物件ハ之ヲ被害者ニ還付ス

第二節 官印ヲ偽造スル罪

第百九十五條 御璽國璽ヲ偽造シ又ハ偽造ノ

御璽國璽ヲ使用シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

第百九十六條 官省院使藩府縣及ヒ各裁判所ノ印ヲ偽造シ又ハ其偽印ヲ使用シタル者ハ重懲役ニ處ス

第百九十七條 前條ニ記載シタル以外ノ官印及ヒ產物商標等ニ押用スル官ノ記號極印ヲ偽造シ又ハ其偽印ヲ使用シタル者ハ輕懲役ニ處ス

第百九十八條 官ヨリ發行スル各種ノ印紙取紙及ヒ郵便切手ヲ偽造シ又ハ其偽造品ヲ使用シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ二十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第百九十九條 不正ノ所為ヲ以テ真正御璽國

重官印及記號極印ヲ得テ之ヲ使用シタル者ハ偽造ノ刑ニ照シ各一等ヲ減ス  
若シ監守者自ラ犯シタル時ハ偽造ノ刑ニ同シ

第二百七條 御璽國璽官印記號極印ノ影蹟ヲ得テ之ヲ他ノ文書物品ニ移シ使用シタル者ハ前條ノ刑ニ同シ

第二百八條 己ニ貼用シタル各種ノ印紙及郵便切手ヲ再ヒ貼用シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百九條 此節ニ記載シタル輕罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

第三節 官ノ文書ヲ偽造スル罪

第二百三條 官ノ文書ヲ偽造シテ行使シタル者ハ輕懲役ニ處ス

官ノ文書ニ記載シタル條件及年月日姓名ヲ變換シテ行使シタル者亦同シ

第二百四條 官吏其職務ヲ以テ文書ヲ記載スルニ當リ故サラニ事實及年月日姓名ヲ變換脫漏シタル者ハ重懲役ニ處ス

己ニ記載シタル文書ヲ増減變換シ又ハ毀棄シタル者亦同シ

第二百五條 公債證書地券其他官吏ノ公證シタル文書ヲ偽造若クハ變換シテ行使シタル者ハ官ノ文書ト同ク論シ前二條ノ例ニ照テ

テ處断ス

若シ無記名ノ公債證書ニ係ル時ハ一等ヲ加  
フ

第二百六條 官ノ文書ヲ偽造スルニ因テ官印  
ヲ使用シタル者ハ偽造官印ノ各本條ニ照シ  
重キニ從テ處断ス

第四節 私印私書ヲ偽造スル罪

第二百七條 他人ノ私印ヲ偽造シテ使用シタ  
ル者ハ六月以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ五

圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

若シ他人ノ私印又ハ印影ヲ不正ニ使用シタ  
ル者ハ前項ノ刑ニ照シ一等ヲ減ス

第二百八條 為替手形其他裏書ヲ以テ賣買ス

可キ證書又ハ金額ト交換ス可キ約定手形ヲ

偽造シテ行使シタル者ハ輕懲役ニ處ス

手形證書ニ記載シタル金額姓名年月日土地

其他書中ノ條件ヲ變換シ又ハ詐偽ノ裏書ヲ

為シテ行使シタル者亦同シ

第二百九條 賣買貸借贈遺交換其他權利義務

ニ関スル證書偽造若クハ變換シテ行使シタ

ル者ハ四月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ四

圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

其餘ノ私書ヲ偽造若クハ變換シテ行使シタ

ル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二

圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百九條 此節ニ記載シタル輕罪ヲ犯サン

トシテ未タ遂ゲサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處断ス

第五節 免状鑑札及ヒ疾病證書ヲ偽造スル罪

第二百十一條 官ノ免状又ハ鑑札ヲ偽造シテ行使シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス但官印ヲ使用シタル時ハ偽造官印ノ各本條ニ照シテ處断ス

第二百十二條 属籍身分姓名ヲ詐稱シ其他詐偽ノ所為ヲ以テ免状鑑札ヲ受タル者ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

若シ官吏情ヲ知テ其免状鑑札ヲ下付シタル者ハ一等ヲ加フ

第二百十三條 公務ヲ免カル可キ為メ醫師ノ姓名ヲ用ヒ疾病ノ證書ヲ偽造シテ行使シタル者ハ自己ノ為メニシ他人ノ為メニスルヲ分タス一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス若シ醫師囑託ヲ受テ其詐偽ノ證書ヲ造リタル者ハ一等ヲ加フ

第二百十四條 陸海軍ノ徴兵ヲ免カル可キ為メ疾病ノ證書ヲ偽造シテ行使シタル者及ヒ囑託ヲ受テ其詐偽ノ證書ヲ造リタル醫師ハ前條ノ刑ニ照シ各一等ヲ加フ



第二百十五條 免狀鑑札及ニ疾病ノ證書ニ記載シタル條件ヲ變換シテ行使シタル者ハ前數條ニ記載シタル偽造ノ刑ニ同シ

第二百十六條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處断ス  
第六節 偽證ノ罪

第二百十七條 刑事ニ関スル證人トシテ裁判所ニ呼出サレタル者被告ヲ曲庇スル為メ事實ヲ掩蔽シテ故サラニ偽證ヲ為シタル時ハ左ノ例ニ照シテ處断ス

一 重罪ヲ曲庇スル為メ偽證シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

二 輕罪ヲ曲庇スル為メ偽證シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス  
三 違警罪ヲ曲庇スル為メ偽證シタル者ハ違警罪ノ本條ニ依テ處断ス

第二百十八條 被告人偽證ノ為メ適當ノ刑ヲ免カレタル時ハ偽證者ノ刑前條ノ例ニ照シ各一等ヲ加フ

第二百十九條 親屬ヲ曲庇スル為メ偽證ヲ為シタル者ハ其罪ヲ論セス  
若シ偽證ニ因テ他人ヲ陷害シタル時ハ親屬ヲ曲庇スルノ意ニ出ルト雖モ後數條ノ例ニ照シテ處断ス

第二百二十條 被告人ヲ陷害スル為メ故サラ  
 = 偽證ヲ為シタ者ハ左ノ例ニ照シテ處断ス  
 一 重罪ニ陷ラシムル為メ偽證シタル者ハ二  
 年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上  
 五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス  
 二 輕罪ニ陷ラシムル為メ偽證シタル者ハ六  
 月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上  
 四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス  
 三 違警罪ニ陷ラシムル為メ偽證シタル者ハ  
 一月以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以  
 上十圓以下ノ罰金ヲ附加ス  
 第二百二十一條 被告人偽證ノ為メ刑ニ處セラ  
 レタル後ニ於テ偽證ノ罪發覺シタル時ハ偽

證者ヲ其刑ニ反坐ス若シ反坐ノ刑前條ニ記  
 載シタル偽證ノ刑ヨリ輕キ時ハ前條ノ刑ニ  
 處ス  
 其刑期限内ニ於テ偽證ノ罪發覺シタル時ハ  
 現ニ經過シタル日數ニ照シテ反坐ノ刑期ヲ  
 減スルヲ得但減シテ前條偽證ノ刑ヨリ降  
 ストヲ得ス  
 第二百二十二條 被告人偽證ノ為メ死刑ニ處  
 セラレタル時ハ反坐ノ刑一等ヲ減ス  
 若シ被告人ヲ死ニ陷ルノ目的ヲ以テ偽證ヲ  
 為シタルノ證アル時ハ死刑ニ反坐ス其未タ  
 刑ヲ執行セサル前ニ於テ發覺シタル時ハ一  
 等ヲ減ス

第二百二十三條 民事商事又ハ行政裁判ニ関シテ偽證ヲ為シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百二十四條 鑑定又ハ通辨ノ為メ裁判所ニ呼出サレ詐偽ノ陳述ヲ為シタル者亦前數條ニ記載シタル偽證ノ例ニ照シテ處断ス

第二百二十五條 偽證又ハ詐偽ノ鑑定通辨ヲ為シタル者其事件ノ裁判宣告ニ至ラサル前ニ於テ自首シタル時ハ其罪ヲ免ス

第二百二十六條 賄賂其他ノ方法ヲ以テ人ニ囑託シテ偽證又ハ詐偽ノ鑑定通辨ヲ為サシメタル者亦偽證ノ刑ニ同シ

第七節 度量衡ヲ偽造スル罪

第二百二十七條 度量衡ヲ偽造又ハ變造シテ其定規ヲ増減シ之ヲ販賣シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

若シ官ノ記號極印ヲ使用シタル時ハ偽造官印ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處断ス

第二百二十八條 偽造變造ノ情ヲ知テ其度量衡ヲ販賣シタル者ハ前條ノ刑ニ照シ一等ヲ減ス

第二百二十九條 商賈工匠定規ヲ増減シタル度量衡ヲ所有シタル者ハ一月以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金

ヲ附加ス

若シ其度量衡ヲ使用シテ利ヲ得タル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ス

第二百三十一條 人ノ囑託ヲ受テ度量衡ヲ偽造又ハ變造シタル者ハ囑託者ノ刑ニ照シ各一等ヲ減ス

第八節 身分ヲ詐稱スル罪

第二百三十一條 官署ニ對シ文書又ハ言語ヲ以テ其屬籍身分姓名年齡職業ヲ詐稱シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百三十二條 官職位階ヲ詐稱シ又ハ官ノ服飾徽章若クハ内外國ノ勲章ヲ濫用シタル者ハ十五日以上二月以下ノ輕禁錮ニ處シ二

圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第九節 公選ノ投票ヲ偽造スル罪

第二百三十三條 公選ノ投票ヲ偽造シ又ハ其數ヲ増減シタル者ハ一月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百三十四條 投票ヲ検査シ又ハ其數ヲ計算スル任アル者其投票ヲ偽造若クハ増減シタル時ハ六月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百三十五條 調書ヲ造リ投票ノ結局ヲ報告スル者其數ヲ増減シ其他詐偽ノ所為アル時ハ一年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓

以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第五章 一般ノ健康ヲ害スル罪

第一節 阿片烟ヲ販賣スル罪

第二百三十六條 阿片烟ヲ輸入シ及ヒ製造シ

又ハ之ヲ販賣シタル者ハ有期徒刑ニ處ス

税関ノ官吏情ヲ知テ阿片烟ヲ輸入セシメタ

タル者ハ一等ヲ加フ

第二百三十七條 阿片烟ヲ吸食スルノ器械ヲ

輸入シ及ヒ製造シ又ハ之ヲ販賣シタル者ハ

重懲役ニ處ス

第二百三十八條 阿片烟ヲ吸食スル為メニ房

屋ヲ給與シテ利ヲ圖ル者ハ輕懲役ニ處ス

人ヲ引誘シテ阿片烟ヲ吸食セシメタル者亦

同シ

第二百三十九條 現ニ阿片烟ヲ吸食シタル者

ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處ス

第二百四十條 阿片烟又ハ吸食ノ器械ヲ所

有シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ

處ス

第二節 飲料ノ淨水ヲ汚穢スル罪

第二百四十一條 人ノ飲料ニ供スル淨水ヲ汚穢

シ因テ之ヲ用フルヲ能ハサルニ至ラシメタ

ル者ハ十一日以上一月以下ノ重禁錮ニ處シ

二圓以上五圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百四十二條 人ノ健康ヲ害ス可キ物品ヲ

用ヒテ水質ヲ變シ又ハ腐敗セシメタル者ハ

一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百四十三條 前條ノ罪ヲ犯スニ因テ人ヲ疾病又ハ死ニ致シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處断ス  
若シ人ヲ殺スノ意ニ出タル者ハ毒殺ヲ以テ論ス

第三節 傳染病豫防規則ニ関スル罪

第二百四十四條 船舶入港ノ際傳染病豫防ノ為メ一時禁止シタル規則ニ背キテ上陸又ハ物品ノ陸揚ヲ為シタル者ハ一月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百四十五條 船長士官自ラ前條ノ罪ヲ犯シ又ハ人ノ犯スヲ知テ禁止セサル者ハ前條ノ刑ニ照シ一等ヲ加フ

第二百四十六條 傳染病流行ノ際ニ當リ豫防規則ニ背キテ流行地方ヨリ他處ニ出タル者ハ十五日以上六月以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百四十七條 獸類ノ傳染病流行ノ際豫防規則ニ背キテ獸類ヲ他處ニ出シタル者ハ十日以上二月以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第四節 危害品及ヒ健康ヲ害ス可キ物品製造ノ規則ニ関スル罪

第二百四十八條 官許ヲ得スシテ危害ヲ生ス可キ物品ノ製造所ヲ創設シタル者ハ二十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス  
若シ健康ヲ害ス可キ物品ノ製造所ヲ創設シタル者ハ十圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス  
第二百四十九條 官許ヲ得テ前條ニ記載シタル製造所ヲ創設スト雖モ危害ヲ豫防シ健康ヲ保護スル規則ニ背キタル者ハ前條ノ例ニ照シ各一等ヲ減ス

第二百五十條 前二條ノ罪ヲ犯スニ因テ人ヲ疾病死傷ニ致シタル時ハ過失殺傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處断ス

第五節 健康ヲ害ス可キ飲食物及ヒ藥

劑ヲ販賣スル罪

第二百五十一條 人ノ健康ヲ害ス可キ物品ヲ用ヒテ飲食物ニ混和シ販賣シタル者ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處シ其物品ヲ没收ス  
第二百五十二條 規則ニ背キテ毒藥劇藥ヲ販賣シタル者ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百五十三條 前二條ノ罪ヲ犯スニ因テ人ヲ疾病死傷ニ致シタル時ハ過失殺傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處断ス

第六節 私ニ醫業ヲ為ス罪

第二百五十四條 官許ヲ得スシテ醫業ヲ為シタル者ハ十一日以上二月以下ノ輕禁錮ニ處

シ又ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス  
第二百五十五條 前條ノ犯人治療ノ方法ヲ誤  
リ因テ人ヲ死傷ニ致シタル時ハ過失殺傷ノ  
各本條ニ照シ重キニ從テ處断ス

第六章 風俗ヲ害スル罪

第二百五十六條 公然猥褻ノ所行ヲ爲シタル  
者ハ十五日以上二月以下ノ重禁錮ニ處シ二  
圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百五十七條 風俗ヲ害スル冊子圖書其他  
猥褻ノ物品ヲ公然陳列シ又ハ販賣シタル者  
ハ十一日以上一月以下ノ重禁錮ニ處シ三圓  
以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百五十八條 賭場ヲ開張シテ利ヲ圖リ又

ハ博徒ヲ招結シタル者ハ三月以上一年以下  
ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ  
附加ス

第二百五十九條 財物ヲ賭シテ現ニ博奕ヲ為  
シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處  
シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加シ現場  
ノ器具財物ヲ没收ス但戲ニ飲食ヲ賭スル者  
ハ其罪ヲ論セス  
若シ情ヲ知テ房屋ヲ給與シタル者ハ一等ヲ  
減ス

第二百六十條 財物ヲ醜集シ富籤ヲ以テ利益  
ヲ僥倖スルノ業ヲ興行シタル者ハ一月以上  
六月以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以



下ノ罰金ヲ附加ス

第二百六十一條 神祠佛堂墓所其他禮拜所ニ對シ公然不敬ノ所行ヲ為シタル者ハ十一日以上二月以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス  
教徒ノ説教又ハ宗徒ノ禮拜ヲ妨害シタル者ハ一月以上三月以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ四圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處ス

第七章 墳墓ヲ發掘シ及ヒ死屍ヲ殘毀スル罪

第二百六十二條 墳墓ヲ發掘シテ棺槨又ハ死屍ヲ見ハシタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

加ス

第二百六十三條 埋葬ス可キ死屍ヲ殘毀シ又ハ遺棄シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス  
若シ墳墓ヲ發掘シテ死屍ヲ殘毀シ又ハ他所ニ移棄シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百六十四條 此章ニ記載シタル罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

第八章 高業及ヒ工業ヲ妨害スル罪

第二百六十五條 偽計又ハ威カヲ以テ穀類其他衆人ノ需用ニ缺ク可カラサル食用物及ヒ膏油薪炭ノ賣買ヲ妨害シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

前項ニ記載シタル以外ノ商品賣買ヲ妨害シタル者ハ一等ヲ減ス

第二百六十六條 偽計又ハ威カヲ以テ糶賣又ハ札ヲ妨害シタル者ハ十五日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百六十七條 偽計又ハ威カヲ以テ工業ヲ妨害シタル者ハ二十日以上四月以下ノ重禁

錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百六十八條 職工其雇賃ヲ増サシメ又ハ工業ノ景況ヲ變セシムル為メ製造主及ヒ他ノ職工ニ對シ偽計威カヲ以テ妨害ヲ為シタル者ハ前條ノ刑ニ照シ一等ヲ加フ

第二百六十九條 製造主其職工ノ雇賃ヲ減セシメ又ハ工業ノ景況ヲ變セシムル為メ職工及ヒ他ノ製造主ニ對シ偽計威カヲ以テ妨害ヲ為シタル者ハ前條ノ例ニ同シ

第二百七十條 虚偽ノ風説ヲ流布シテ穀類其他衆人需用物品ノ定價ヲ昂低セシメタル者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

第八章 官吏瀆職ノ罪

第一節 官吏公益ヲ害スル罪

第二百七十一條 官吏故意ヲ以テ自己ノ管掌ニ  
係ル法律規則ヲ公布施行セズ又ハ他ノ官吏  
ノ公布施行ヲ妨害シタル者ハ二月以上六月  
以下ノ輕禁錮ニ處シ十圓以上五十圓以下ノ  
罰金ヲ附加ス

第二百七十二條 兵隊ヲ要求シ及ヒ之ヲ使用  
スルノ權アル官吏地方ノ騷擾其他兵權ヲ以  
テ鎮撫ス可キ時ニ當リ故サラニ其處分ヲ為  
サ、ル者ハ三月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處  
シ二十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス  
第二百七十三條 官吏其職務ニ関シタル事ニ

於テ商業ヲ為シタル者ハ二十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス但自己所有地内ノ生産物ヲ販賣スル者ハ商業ヲ為スヲ以テ論スルヲ得ス

第二節 官吏人民ニ對スル罪

第二百七十四條 官吏擅ニ威權ヲ用ヒ人ヲシテ其權利ナキ事ヲ行ハシメ又ハ其為ス可キ權利ヲ妨害シタル者ハ十一日以上二月以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百七十五條 人ノ身軀財産ヲ妨害スルノ犯人アルニ當リ檢事警察官吏其報告ヲ受テ速ニ保護ノ處分ヲ為サル者ハ十五日以上

三月以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百七十六條 逮捕官吏法律ニ定メタル程式規則ヲ守ラステ人ヲ逮捕シ又ハ不正ニ人ヲ拘置シタル者ハ十五日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス但拘置ノ日數十日ヲ過ル毎ニ一等ヲ加フ

第二百七十七條 司獄官吏其裁判宣告書ヲ檢視セス又ハ程式規則ヲ守ラステ囚人ヲ拘置シ差クハ囚人ヲ出獄セシム可キノ命ヲ受ケ及ヒ刑期滿限ノ時ニ至リ之ヲ放免セサル者ハ亦前條ノ例ニ同シ

第二百七十八條

前二條ノ官吏又ハ護送人囚

人ニ對シ苛刻ノ所為ヲ施シ若クハ傷害ヲ加

ヘタル時ハ

ノ例ニ照シ一等ヲ加ヘ重キ

ニ從テ處断ス

第二百七十九條

裁判官檢事及ヒ警察官吏被

告人ニ對シ罪狀ヲ陳述セシムル為メニ暴行

ノ加ヘ又ハ陵虐ノ所為アル者ハ三月以上三

年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上五十圓以下

ノ罰金ヲ附加ス

若シ被告人ニ傷害ヲ加ヘタル時ハ毆打創傷

ノ各本條ニ照シ一等ヲ加ヘ重キニ從テ處断

ス

第二百八十條

裁判官故ナクシテ民事刑事

ノ訴ヲ受理セス又ハ遷延シテ審理セサル者

ハ十五日以上三月以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓

以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百八十一條

官吏人ノ囑託ヲ受ケ因テ賄賂

ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シタル者ハ一月以上

一年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以

下ノ罰金ヲ附加ス因テ不正ノ處分ヲ為シタ

ル者ハ一等ヲ加フ

第二百八十二條

裁判官民事ノ裁判ニ関シテ

賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シタル者ハ前條

ノ例ニ照シ各一等ヲ加フ

第二百八十三條

裁判官檢事警察官吏及ヒ參

座刑事ノ裁判ニ関シテ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス  
因テ被告入ヲ曲庇シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上六十圓以下ノ罰金ヲ附加ス  
其被告入ヲ陷害シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ二十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス若シ其枉断シタル所ノ刑此刑ヨリ重キ時ハ第百二十一條第百二十二條ノ例ニ照シテ反坐ス

第百八十四條 裁判官檢察官吏及ヒ參

座賄賂ヲ收受聽許セスト雖モ情ニ徇カヒ又ハ怨ヲ狹サシテ故サラニ被告人ヲ罪ニ出入シタル者ハ前條ニ記載シタル曲庇陷害ヲ刑ニ處ス

第百八十五條 前數條ニ記載シタル賄賂ノ收受シタル者ハ之ヲ沒收ス己ニ費用スル者ハ其價ヲ追徴ス

第三節 官吏財産ニ對スル罪

第百八十六條 官吏自ラ監守スル所ノ金穀物件ヲ竊取シタル者ハ竊盜ノ刑ニ照シ二等ヲ加フ

若シ此罪ヲ犯スニ因テ官ノ文書簿冊ヲ増減變換シ又ハ毀棄シタル時ハ第百四條ノ例

ニ照シテ處斷ス

第二百八十七條 租税其他諸収ノ入額ヲ領取スルノ任アル官吏私利ヲ圖テ故サラニ正數外ノ金穀ヲ徵收シタル者ハ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三編 身躰財産ニ對スル重罪輕罪

第一章 身躰ニ對スル罪

第一節 謀殺故殺ノ罪

第二百九十條 豫メ謀テ人ヲ殺シタル者ハ謀殺ノ罪ト為シ死刑ニ處ス

第二百九十一條 故サラニ死ニ致ス可キ毒物ヲ施用シテ人ヲ殺シタル者ハ謀殺ヲ以テ論シ死刑ニ處ス

第二百九十二條 故意ヲ以テ人ヲ殺シタル者ハ故殺ノ罪ト為シ無期徒刑ニ處ス

第二百九十三條 支解折割其他慘刻ノ所為ヲ以テ人ヲ故殺シタル者ハ死刑ニ處ス

第二百九十四條 重罪輕罪ヲ犯スニ便利ナル

為メ又ハ已ニ犯シテ其罪ヲ免カル、為メ人  
ヲ故殺シタル者ハ死刑ニ處ス

第二百九十五條 人ヲ殺スノ意ニ出テ詐稱誘  
導シテ危害ニ陷レ死ニ致シタル者ハ故殺ヲ  
以テ論シ其豫メ謀ル者ハ謀殺ヲ以テ論ス  
第二百九十六條 謀殺故殺ヲ行ヒ誤テ他人ヲ  
殺シタル者ハ仍ホ謀故殺ヲ以テ論ス

第二節 殴打創傷ノ罪

第二百九十七條 故意ヲ以テ人ヲ殴打創傷シ  
因テ死ニ致シタル者ハ重懲役ニ處ス

第二百九十八條 故意ヲ以テ人ヲ殴打創傷シ  
其兩目ヲ瞎シ兩耳ヲ聾シ又ハ兩肢ヲ折リ及  
ヒ舌ヲ断チ陰陽ヲ毀敗シ若クハ知覺精神ヲ

喪失セシメ篤疾ニ致シタル者ハ輕懲役ニ處  
ス

其一目ヲ瞎シ一耳ヲ聾シ又ハ一肢ヲ折リ其  
他身體ヲ殘虧シ癡疾ニ致シタル者ハ二年以  
上五年以下ノ重禁錮ニ處ス

第二百九十九條 故意ヲ以テ人ヲ殴打創傷シ  
二十日以上ノ時間疾病ニ罹リ又ハ職業ヲ營  
ムコ能ハサルニ至ラシメタル者ハ一年以上  
三年以下ノ重禁錮ニ處ス

其疾病休業ノ時間二十日ニ至ラサル者ハ一  
月以上一年以下ノ重禁錮ニ處ス  
疾病休業ニ至ラスト雖モ身軀ニ創傷ヲ成シ  
タル者ハ十一日以上一月以下ノ重禁錮ニ處



ス

第三百條 豫メ謀テ人ヲ毆打創傷シ休業癡篤又ハ死ニ致シタル者ハ前數條ノ刑ニ照シ各一等ヲ加フ

第三百一條 重罪輕罪ヲ犯スニ便利ナル為メ又ハ已ニ犯シテ其罪ヲ免カル、為メ人ヲ毆打創傷シタル者ハ前條ノ例ニ同シ但強盜人ヲ死傷ニ致シタル者ハ強盜ノ本條ニ從フ

第三百二條 毆打ニ因リ誤テ他人ヲ創傷シタル者ハ仍ホ毆打創傷ノ本刑ヲ科ス

第三百三條 二人以上共ニ人ヲ毆打創傷シタル者ハ現ニ手ヲ下シ傷ヲ成スノ輕重ニ從テ各自ニ其刑ヲ科ス若シ共毆シテ傷ヲ成スノ

輕重ヲ知ルヲ能ハサル時ハ其重傷ノ刑ニ照シ一等ヲ減ス但教唆者ハ減等ノ限ニ在ラス

第三百四條 共謀シテ人ヲ毆打シ自ラ傷ヲ成サスト至モ其幫助ニ因テ傷ヲ成サシメタル者ハ傷ヲ成シタル者ニ一等ヲ減ス物品ヲ施用シテ人ヲ疾苦セシメタル者ハ豫メ謀テ毆打創傷スルノ刑ニ照シテ處断ス

第三百五條 人ヲ殺スノ意ニ非スト雖モ故サラニ詐稱誘導シテ危害ニ陷レ因テ疾病死傷ニ致シタル者ハ其豫メ謀ルト否トヲ區別シ毆打創傷ノ刑ニ照シテ處断ス

第三節 殺傷ニ関スル宥恕及ヒ不論罪

第三百六條 自己ノ身軀ニ暴行ヲ受ルニ因リ

直チニ怒ヲ發シ暴行人ヲ故殺シ又ハ毆打創

傷シタル者ハ其罪ヲ宥恕ス但不正ノ所為ニ

因テ暴行ヲ招キタル者ハ此限ニ在ラス

第三百七條 人ノ暴行ヲ受ルヲ見テ直チニ怒

ヲ發シ暴行人ヲ故殺毆傷シタル者ハ情狀ニ

因リ其罪ヲ宥恕スルヲ得

第三百八條 毆打シテ互ニ創傷シ其手ヲ下ス

ノ先後ヲ知ルヲ能ハサル者ハ各本刑ヲ宥恕

スルヲ得

第三百九條 本夫其婦ノ姦通ヲ覺知シ姦所ニ

於テ直チニ姦夫又ハ姦婦ヲ故殺毆傷シタル

者ハ其罪ヲ宥恕ス但先ニ姦通ヲ縱容シタル

者ハ此限ニ在ラス

第三百十條 晝間故ナク人ノ住居シタル邸宅

ニ侵入シ若クハ踰越損壞セントスル者ヲ防

止シテ之ヲ故殺毆傷シタル時ハ其罪ヲ宥恕

ス

第三百十一條 竊盜ヲ防止シ又ハ直チニ其盜

賊ヲ取還スル為メニ犯人ヲ故殺毆傷シタル

者ハ其罪ヲ宥恕ス

第三百十二條 前數條ニ記載シタル殺傷ノ罪

ヲ宥恕ス可キ者ハ各本刑ニ照シ二等又ハ三

等ヲ減ス

第三百十三條 身軀生命ヲ正當ニ防衛シ已ム

ヲ得サルニ出テ暴行人ヲ故殺毆傷シタル

者ハ自己ノ為メニシ他人ノ為メニスルヲ分  
タス其罪ヲ論セス但不正ノ所為ニ因リ自ラ  
暴行ヲ招キタル者ハ此限ニ在ラヌ

第三百十四條 左ノ諸件ニ於テ已ムコトヲ得サ  
ルニ出テ人ヲ故殺毆傷シタル者ハ其罪ヲ論  
セス

一 動産不動産ニ對シ二人以上暴行ヲ為ス者  
又ハ動産不動産ニ放火スル者ヲ防止スル  
ニ出タル時

二 強盜ヲ防止シ又ハ強盜ノ賊ヲ取還スルニ  
出タル時

三 夜間故ナク人ノ住居シタル邸宅ニ侵入シ  
若クハ踰越損壞スル者ヲ防止スルニ出タ

ル時

第三百十五條 身躰財産ヲ防衛スルニ出ルト  
雖モ已ムコトヲ得サルニ非スシテ害ヲ暴行人  
ニ加ヘ又ハ危害已ニ去リタル後ニ於テ勢ニ  
乘シ仍ホ害ヲ暴行人ニ加ヘタル者ハ不論罪  
ノ限ニ在ラス但第三百十二條ノ例ニ照シ其  
罪ヲ宥恕ス

第四節 過失殺傷ノ罪

第三百十六條 疎虞懈怠又ハ規則慣習ヲ遵守  
セス過失ニ因テ人ヲ死ニ致シタル者ハ二月  
以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ十圓以上  
百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三百十七條 過失ニ因テ人ヲ創傷シ癡篤疾

ニ致シタル者ハ一月以上六月以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三百十八條 過失ニ因テ人ヲ創傷シ疾病ニ罹リ又ハ休業スルニ至ラシメタル者ハ十一日以上二月以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第五節 自殺ニ関スル罪

第三百十九條 人ヲ教唆シテ自殺セシメタル者又ハ囑託ヲ受テ自殺人ノ為メニ手ヲ下シタル者ハ六月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス其他自殺ノ補助ヲ為シタル者ハ一等ヲ減ス

第三百二十條 自己ノ利慾ヲ逞スルノ意ニ出テ人ヲ教唆シテ自殺セシメタル者ハ重懲役ニ處ス

第三百二十一條 人ヲ威逼又ハ制縛シテ自殺ニ致シタル者ハ六月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第六節 擅ニ人ヲ逮捕監禁スル罪

第三百二十二條 擅ニ現行犯ニ非サル人ヲ逮捕シ又ハ擅ニ人ヲ私家ニ監禁シタル者ハ十日以上二月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上十圓以下ノ罰金ヲ附加ス但監禁日數十日ヲ過ル毎ニ一等ヲ加フ

第三百二十三條 擅ニ人ヲ監禁制縛シテ毆打拷責シ又ハ飲食衣服ヲ屏去シ其他苛刻ノ所為ヲ施シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百二十四條 前條ノ罪ヲ犯スニ因テ人ヲ創傷シ疾病休業癱篤疾又ハ死ニ致シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ一等ヲ加ヘ重キニ從テ處断ス

第三百二十五條 擅ニ人ヲ監禁シ水火震災ノ際其監禁ヲ解カスシテ死傷ニ致シタル者亦前條ノ例ニ同シ

第七節 脅迫ノ罪

第三百二十六條 人ヲ殺サント脅迫シ又ハ其住居スル家屋ニ放火セント脅迫シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

毆打創傷其他暴行ヲ加ヘント脅迫シ又ハ財産ニ放火シ及ヒ毀壞劫掠セント脅迫シタル者ハ十一日以上二月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百二十七條 兇器ヲ持シテ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ各一等ヲ加フ

第三百二十八條 親屬ニ害ヲ被ラシム可キ事ヲ以テ脅迫シタル者ハ直チニ本人ニ對シ脅迫シタルノ罪ト同ク前二條ノ例ニ照シテ處

断ス

第三百二十九條 前數條ノ犯罪ハ脅迫ヲ受メ  
ル者又ハ其親屬代人ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論  
ス

第八節 墮胎ノ罪

第三百三十條 懷胎ノ婦女藥物ヲ用ヒ又ハ其  
他ノ方法ヲ以テ墮胎シタル者ハ一月以上一  
年以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百三十一條 藥物其他ノ方法ヲ以テ墮胎  
セシメタル者ハ前條ノ刑ニ同シ因テ婦女ヲ  
死ニ致シタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁  
錮ニ處ス

第三百三十二條 醫師穩婆又ハ藥舗前條ノ罪

ヲ犯シタル者ハ各一等ヲ加フ

第三百三十三條 懷胎ノ婦女ヲ威逼又ハ誑騙  
シテ墮胎セシメタル者ハ一年以上四年以下  
ノ重禁錮ニ處ス

第三百三十四條 懷胎ノ婦女ナルヲ知テ毆  
打其他暴行ヲ加ヘ因テ墮胎ニ至ラシメタル  
者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處ス其故  
サヲニ墮胎セシムルノ意ニ出タル者ハ輕懲  
役ニ處ス

第三百三十五條 前二條ノ罪ヲ犯シ因テ癩寫  
疾又ハ死ニ致シタル者ハ豫メ謀ルト否トヲ  
區別シ毆打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ  
處断ス

第九節 幼者又ハ老疾者ヲ遺棄スル罪

第三百三十六條 十歳ニ満サル幼者ヲ遺棄シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處ス  
自ラ生活スルヲ能ハサル老疾者ヲ遺棄シタル者亦同シ

第三百三十七條 十歳ニ満サル幼者又ハ老疾者ヲ寥闕無人ノ地ニ遺棄シタル者ハ四月以上四年以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百三十八條 給料ヲ得テ人ノ寄託ヲ受ケ保養ス可キ者前二條ノ罪ヲ犯シタル時ハ各一等ヲ加フ

第三百三十九條 幼者老疾者ヲ遺棄シテ之ヲ瘵疾ニ致シタル者ハ輕懲役ニ處シ篤疾ニ致シタル者ハ重懲役ニ處ス因テ死ニ致シタル者ハ有期徒刑ニ處ス

第三百四十條 自己ノ所有地又ハ管守ス可キ地内ニ遺棄セラレタル幼者老疾者アルヲ覺知シテ之ヲ扶助セス又ハ官署ニ申告セサル者ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス

若シ疾病ニ罹リ前項ノ地内ニ昏倒スル者アルヲ覺知シテ扶助又ハ申告セサル者亦同シ

第十節 幼者ヲ畧取誘拐スル罪

第三百四十一條 十二歳ニ満サル幼者ヲ畧取シ又ハ偽計其他ノ方法ヲ以テ誘拐シテ自ラ藏匿シ又ハ他人ニ交付シタル者ハ二年以上

五年以下ノ重禁錮ニ處シ二十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百四十二條 十二歳以上二十歳ニ滿サル幼者ヲ畧取シテ自ラ藏匿シ又ハ他人ニ交付シタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス其誘拐シテ自ラ藏匿シ又ハ他人ニ交付シタル者ハ六月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百四十三條 畧取誘拐シタル幼者ナルヲ知テ自己ノ家屬僕婢ト為シ又ハ其他ノ名稱ヲ以テ之ヲ收受シタル者ハ畧取誘拐ノ刑ニ照シ各一等ヲ減ス

第三百四十四條 前數條ニ記載シタル畧取誘拐ノ罪ハ被害者又ハ其親屬代人ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス但畧誘セラレタル幼者式ニ從テ婚姻ヲ為シタル時ハ其罪ヲ論セス

第三百四十五條 二十歳ニ滿サル幼者ヲ畧取誘拐シ因テ外國人ニ交付シタル者ハ輕懲役ニ處ス

第十一節 猥褻姦淫重婚ノ罪

第三百四十六條 十二歳ニ滿サル男女ニ對シ猥褻ノ所行ヲ為シ又ハ十二歳以上ノ男女ニ對シ暴行脅迫ヲ以テ猥褻ノ所行ヲ為シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス



第三百四十七條 十二歳ニ滿サル男女ニ對シ暴行脅迫ヲ以テ猥褻ノ所行ヲ為シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百四十八條 十二歳以上ノ婦女ニ對シテ強姦シタル者ハ輕懲役ニ處ス  
方畧ヲ用ヒテ人ヲ昏睡セシメ又ハ精神ヲ錯乱セシメテ姦淫シタル者ハ強姦ヲ以テ論ス

第三百四十九條 十二歳ニ滿サル幼女ヲ姦淫シタル者ハ輕懲役ニ處ス若シ強姦シタル者ハ重懲役ニ處ス

第三百五十條 前數條ノ犯罪ハ被害者又ハ其親屬代人ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

第三百五十一條 前數條ノ罪ヲ犯スニ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ殴打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處断ス但強姦ニ因テ人ヲ癡篤疾ニ致シタル者ハ有期徒刑ニ處シ死ニ致シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

第三百五十二條 自己ノ利益ヲ圖リ十六歳ニ滿サル男女ノ淫行ヲ勸誘媒合シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百五十三條 有夫ノ婦姦通シタル者ハ六月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス其相姦スル者亦同シ

有夫姦ハ本夫ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス若シ

本夫先キニ其姦ヲ縦容シタル者ハ告訴ノ効ナシ

第三百五十四條 配偶者アル者重子テ婚姻ヲ為シタル時ハ六月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第十二節 誣告及ヒ人ノ名譽ヲ害スル罪

第三百五十五條 不實ノ事ヲ以テ人ヲ誣告シタル者ハ第二百二十三條ニ記載シタル偽證ノ例ニ照シテ處断ス

第三百五十六條 誣告ヲ為スト雖モ被告人ノ推問ヲ始メサル前ニ於テ誣告者自首シタル時ハ其罪ヲ論セス

第三百五十七條 誣告ニ因テ被告人刑ニ處セラレタル時ハ第二百二十四條第二百二十五條ニ記載シタル例ニ照シテ誣告者ヲ反坐ス

第三百五十八條 惡事醜行ヲ摘發シテ人ヲ讒毀シタル者ハ事實ノ有無ヲ問ハス左ノ例ニ照シテ處断ス

一 公然ノ演說ヲ以テ人ヲ讒毀シタル者ハ十日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

二 書類畫圖ヲ公布シ又ハ雜劇偶像ヲ作為シテ人ヲ讒毀シタル者ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百五十九條 死者ヲ讒毀シタル者ハ其事  
故サラニ誣罔ニ出タルニ非サレハ讒毀ノ罪  
ヲ論セス

第三百六十條 醫師藥舗穩婆又ハ代言人代書  
人若クハ神官僧侶其身分職業ニ於テ委託ヲ  
受ケタル事ニ因テ知得タル陰私ヲ故サラニ  
漏告シタル者ハ讒毀ヲ以テ論シ十一日以上  
三月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上十圓以下  
ノ罰金ヲ附加ス  
其委託ヲ受ケタル事件ニ付テハ裁判所ニ於  
テ證人ト為ルヲ辞スルヲ得若シ證人ト為  
リ事實ヲ陳述スト雖モ前項ノ刑ヲ科スルノ  
限ニ在ラス

第三百六十一條 此節ニ記載シタル讒毀ノ罪  
ハ被害者又ハ死者ノ親屬ノ告訴ヲ待テ其罪  
ヲ論ス

第十三節 祖父母父母ニ對スル罪

第三百六十二條 子孫其祖父母父母ヲ謀殺故  
殺シタル者ハ死刑ニ處ス  
其自殺ニ関スル罪ハ凡人ノ刑ニ照シ二等ヲ  
加フ

第三百六十三條 子孫其祖父母父母ヲ毆打創  
傷シ若クハ其健康ヲ害ス可キ物品ヲ施用シ  
其他監禁脅迫及ヒ遺棄誣告讒毀等ノ罪ヲ犯  
シタル者ハ各本條ニ記載シタル凡人ノ刑ニ  
照シ二等ヲ加フ但癡疾ニ致シタル者有期徒

刑ニ處シ篤疾ニ致シタル者ハ無期徒刑ニ處シ死ニ致シタル者ハ死刑ニ處ス

第三百六十四條 子孫其祖父母父母ニ對シ衣食ヲ供給セス其他必要ナル奉養ヲ缺ク者ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

因テ疾病ニ罹リ及ヒ癡篤疾又ハ死ニ致シタル者ハ前條ノ例ニ同シ

第三百六十五條 祖父母父母ニ對シタル故殺及ヒ毆打創傷ノ罪ハ特別ノ宥恕減輕ヲ與フルヲ得ス

若シ特別ノ不論罪ニ該ル者ハ各本刑ニ照シ二等又ハ三等ヲ減ス

第二章 財産ニ對スル罪

第一節 竊盜ノ罪

第三百六十六條 人ノ所有物ヲ竊取シタル者ハ竊盜ノ罪ト為シ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百六十七條 水火震災其他非常ノ變ニ乘シテ竊盜ヲ犯シタル者ハ前條ノ刑ニ一等ヲ加フ

第三百六十八條 門戶牆壁ヲ踰越損壞シ若クハ鎖鑰ヲ開キ人ノ邸宅ニ入り竊盜ヲ犯シタル者ハ六月以上五年以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百六十九條 竊盜二人以上又ハ兇器ヲ持シタル者ハ前數條ノ刑ニ照シ各一等ヲ加フ

第三百七十條 夜間二人以上兇器ヲ持シ人ノ

住居シタル邸宅ニ入り窃盗ヲ犯シタル者ハ  
輕懲役ニ處ス

第三百七十一條 自己ノ所有物ト雖モ典物ト  
シテ他人ニ交付シ又ハ官署ノ命ニ因リ他人  
ヲシテ管守セシメタル時之ヲ窃取シタル者  
ハ窃盗ヲ以テ論ス

第三百七十二條 田野ニ於テ穀類菜菓其他ノ  
産物ヲ窃取シタル者ハ一月以上一年以下ノ  
重禁錮ニ處ス

第三百七十三條 山林ニ於テ竹木礦物其他ノ  
産物ヲ窃取シ又川澤池沼湖海ニ於テ人ノ生  
養シ若クハ營業ニ関シタル産物ヲ窃取シタ  
ル者ハ前條ノ刑ニ同シ

第三百七十四條 牧場ニ於テ牧養ノ獸類ヲ窃  
取シタル者ハ一月以上二年以下ノ重禁錮ニ  
處ス

第三百七十五條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯サ  
ントシテ未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ  
照シテ處断ス

第三百七十六條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ  
輕罪ノ刑ニ處スル者ハ一年以下ノ監視ニ付  
ス

第三百七十七條 夫婦祖父母父母子孫及ヒ其  
配偶者又ハ同居ノ兄弟姉妹互ニ其財物ヲ窃  
取シタル者窃盗ヲ以テ論スルノ限ニ在ラス  
若シ他人其共犯ト為テ財物ヲ分チタル者ハ

竊盜ヲ以テ論ス

第二節 強盜ノ罪

第三百七十八條 人ヲ脅迫シ又ハ暴行ヲ加ヘテ財物ヲ強取シタル者ハ強盜ノ罪ト為シ輕懲役ニ處ス

第三百七十九條 強盜左ニ記載スル情狀アル者ハ一個毎ニ一等ヲ加フ

一 二人以上共ニ犯シタル時  
二 兇器ヲ携帶シテ犯シタル時

第三百八十條 強盜人ヲ傷シタル者ハ無期徒刑ニ處シ死ニ致シタル者ハ死刑ニ處ス

第三百八十一條 強盜ヲ犯シ因テ強姦シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

第三百八十二條 竊盜財ヲ得テ其取還ヲ拒ク為ノ臨時暴行脅迫ヲ為シタル者ハ強盜ヲ以テ論ス

第三百八十三條 方畧ヲ用ヒ人ヲ昏睡セシメテ其財物ヲ奪取シタル者ハ強盜ヲ以テ論シ輕懲役ニ處ス

第三百八十四條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ減輕ニ因テ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ一年以下ノ監視ニ付ス

第三節 遺失物埋藏物ニ関スル罪

第三百八十五條 遺失及ヒ漂流ノ物品ヲ拾得テ隱匿シ本主ニ還付セス又ハ官署ニ申告セサル者ハ十一日以上三月以下ノ重禁錮ニ處

シ又ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三百八十六條 他人ノ所有地内ニ於テ埋藏

ノ物品ヲ掘得テ隠匿シタル者ハ前條ノ刑ニ

同シ

第三百八十七條 前二條ノ罪ヲ犯シタル者第

三百七十七條ニ記載シタル親屬ニ係ル時ハ

其罪ヲ論セス

第四節 家資分散ニ関スル罪

第三百八十八條 家資分散ノ際ニ於テ其現在

ノ財産及ヒ貸與ノ財産ヲ藏匿脱漏シ又ハ虚

偽ノ負債ヲ増加シタル者ハ六月以上五年以

下ノ重禁錮ニ處ス

情ヲ知テ虚偽ノ契約ヲ承諾シ若クハ其媒介

ヲ為シタル者亦同シ

第三百八十九條 家資分散ノ際牒簿ノ類ヲ藏

匿毀棄シ又ハ分散決定ノ後一方ノ債主ニ私

償シテ他ノ債主ヲ害シタル者ハ一月以上二

年以下ノ重禁錮ニ處ス

第五節 詐欺取財及ヒ受寄財物ニ関ス

ル罪

第三百九十條 人ヲ欺罔又ハ恐喝シ財物若ク

ハ證書類ヲ騙取シタル者ハ詐欺取財ノ罪ト

為シ二月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓

以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

若シ此條ノ罪ヲ犯ス為メ官私ノ文書ヲ偽造

變換シタル者ハ偽造ノ各本條ニ照シ重キニ

從テ處断ス

第三百九十一條 幼者ノ智慮淺薄又ハ人ノ精神錯乱シタルニ乘シテ其財物若クハ證書類ヲ授與セシメタル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ス

第三百九十二條 物件ヲ販賣シ又ハ交換スルニ當リ其物質ヲ變シ若クハ分量ヲ偽テ人ニ交付シタル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ス

第三百九十三條 他人ノ動産不動産ヲ冒認シテ販賣交換シ又ハ抵當典物ト為シタル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ス

自己ノ不動産ト雖モ已ニ抵當典物ト為シタルヲ欺隱シテ他人ニ賣與シ又ハ重子テ抵當典物ト為シタル者亦同シ但判決ノ前ニ於テ

金額ヲ辨償シタル者ハ其罪ヲ論セス

第三百九十四條 受寄ノ財物及ヒ借用物又ハ典物其他委託ヲ受タル金額物件ヲ費消シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處ス若シ詐欺ノ所為アル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ス

第三百九十五條 客屋倉戸及ヒ工人舟子脚夫馬丁車力等人ノ賃給ヲ受ケ其委託セラレタル所ノ財物ヲ藏匿招帶スル者ハ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百九十六條 自己ノ所有ニ係ルト雖モ官署ヨリ差押へ更ニ付託シタル物件ヲ藏匿脱漏シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス但家資分散ノ際ニ於テ此罪ヲ犯シタル



者ハ第三百八十八條ノ例ニ照シテ處断ス  
第三百九十七條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯サ  
ントシテ未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ  
照シテ處断ス

第三百九十八條 此節罪ヲ犯シタル者第三百  
七十七條ニ記載シタル親屬ニ係ル時ハ其罪  
ヲ論セス

第六節 贓物ニ関スル罪

第三百九十九條 強竊盜ノ贓物ナルヲ知テ  
之ヲ受ケ又ハ寄藏故買若クハ牙保ヲ為シタ  
ル者ハ一月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ三  
圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス  
此條ノ罪ヲ犯シタル者ハ一年以下ノ監視ニ

付ス

第四百條 詐欺取財其他ノ犯罪ニ関シタル物  
件ナルヲ知テ之ヲ受ケ又ハ寄藏故買若ク  
ハ牙保ヲ為シタル者ハ十一日以上六月以下  
ノ重禁錮ニ處シ二圓以上十圓以下ノ罰金ヲ  
附加ス

第七節 放火失火ノ罪

第四百一條 火ヲ放テ人ノ住居シタル家屋ヲ  
燒燬シタル者ハ死刑ニ處ス

第四百二條 火ヲ放テ人ノ住居セサル家屋其  
他建造物ヲ燒燬シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

第四百三條 火ヲ放テ廢屋及ヒ柴草肥糧等ヲ  
貯フル小舎ヲ燒燬シタル者ハ重懲役ニ處ス

第四百四條 火ヲ放テ人ヲ乗載シタル船舶汽  
車ヲ燒燬シタル者ハ死刑ニ處ス

其人ヲ乗載セサル船舶汽車ニ係ル者ハ重懲  
役ニ處ス

第四百五條 火ヲ放テ山林ノ竹木田野ノ穀麥  
又ハ露積シタル柴草竹木其他ノ物件ヲ燒燬

シタル者ハ輕懲役ニ處ス

第四百六條 火ヲ放テ自己ノ家屋ヲ燒燬シタ  
ル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス

第四百七條 前數條ニ記載シタル放火ニ因テ  
更ニ重刑ニ處ス可キ家屋物件ニ延燒シタル  
時ハ其重キニ從テ處斷ス

第四百八條 放火ノ罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處セ

ラレタル者ハ一年以下ノ監視ニ付ス

第四百九條 火ヲ失シテ人ノ家屋財産ヲ燒燬  
損害シタル者ハ十一日以上二月以下ノ輕禁

錮ニ處シ又ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ  
處ス

第四百十條 火藥其他激發ス可キ物品又ハ煤  
氣井蒸氣罐ヲ破裂セシメテ人ノ建造物船舶

等ヲ毀壞シタル者ハ其故意ニ出ルト過失ト  
ヲ分チ放火失火ノ例ニ照シテ處斷ス

第八節 決水ノ罪

第四百十一條 堤防ヲ決潰シ又ハ水閘ヲ毀壞  
シテ人ノ住居シタル家屋ヲ流失シタル者ハ  
無期徒刑ニ處ス

若シ人ノ住居セサル家屋其他建造物ヲ流失  
シタル者ハ重懲役ニ處ス

第四百十二條 堤防ヲ決潰シ水閘ヲ毀壞シテ  
田畝礦坑牧場等ヲ荒廢シタル者ハ輕懲役ニ  
處ス

第四百十三條 他人ノ便益ヲ損シ又ハ自己ノ  
便益ヲ圖ル為メニ堤防ヲ決潰シ水閘ヲ毀壞  
シ其他水利ヲ妨害シタル者ハ一月以上二年  
以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ  
罰金ヲ附加ス

第四百十四條 過失ニ因テ水害ヲ起シタル者  
ハ失火ノ例ニ照シテ處断ス

### 第九節 船舶ヲ覆没スル罪

第四百十五條 衝突其他ノ所為ヲ以テ故サラ  
ニ人ヲ乗載シタル船舶ヲ覆没シタル者ハ死  
刑ニ處ス但船中死凶ナキ時ハ無期徒刑ニ處  
ス

第四百十六條 前條ノ所為ヲ以テ人ヲ乗載セ  
サル船舶ヲ覆没シタル者ハ輕懲役ニ處ス

第十節 家屋物品及ヒ動植物ヲ毀壞殘  
害スル罪

第四百十七條 故意ヲ以テ人ノ家屋其他建造  
物ヲ毀壞シタル者ハ一月以上五年以下ノ重  
禁錮ニ處シ二圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附  
加ス

因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ毆打創傷ノ各

本條ニ照シ重キニ從テ處断ス

第四百十八條 故意ヲ以テ人ノ家屋ニ屬スル  
牆塀及ヒ園池ノ裝飾又ハ田畝ノ樊圍牧場ノ  
柵欄ヲ毀壞シタル者ハ十一日以上三月以下  
ノ重禁錮ニ處シ二圓以上十圓以下ノ罰金ヲ  
附加ス

第四百十九條 故意ヲ以テ人ノ稼穡竹木其他  
需用ノ植物ヲ毀損又ハ荒殘シタル者ハ十一  
日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二  
十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第四百二十條 故意ヲ以テ土地ノ經界ヲ表シ  
タル物件ヲ毀壞又ハ移轉シタル者ハ一月以  
上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓

以下ノ罰金ヲ附加ス

自己ノ利ヲ圖ル為メニ隣地ノ經界ヲ毀壞移  
轉シタル者ハ一等ヲ加フ

第四百二十一條 故意ヲ以テ人ノ器具物品ヲ  
毀棄損壞シテ其用ニ適セサラシメタル者ハ  
十一日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以  
上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第四百二十二條 故サラニ人ノ牛馬ヲ殺害シ  
タル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ  
二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第四百二十三條 故意ヲ以テ前條ニ記載シタ  
ル以外ノ家畜ヲ殺害シタル者ハ二圓以上二  
十圓以下ノ罰金ニ處ス但被害者ノ告訴ヲ待

テ其罪ヲ論ス

第四百二十四條 故意ヲ以テ人ノ權利義務ニ  
関スル證書類ヲ毀棄滅盡シタル者ハ二月以  
上四年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓  
以下ノ罰金ヲ附加ス

第四編 違警罪

第四百二十五條 左ノ諸件ヲ犯ス者ハ三日以  
上十日以下ノ拘留ニ處シ又ハ一圓以上一圓  
九十五錢以下ノ科料ニ處ス  
一官署ノ規則ヲ遵守セスシテ火藥其他破裂  
ス可キ物品ヲ市街ニ運搬スル者  
二官署ノ規則ヲ遵守セスシテ火藥其他破裂  
スヘキ物品又ハ自ラ火ヲ発スヘキ物品ヲ

貯藏シタル者

三官署ノ許可ヲ得スシテ烟火ヲ製造シ又ハ  
之ヲ販賣シタル者

四人家稠密ノ場所ニ於テ濫リニ烟火其他火  
器ヲ玩ヒタル者

五蒸氣器械其他烟筒火竈ヲ建造修理シ及ヒ  
掃除スル規則ニ背キタル者

六官署ノ督促ヲ背セス崩壊セントスル家屋  
牆塀ノ修理ヲ為サ、ル者

七官許ヲ受スシテ死屍ヲ解剖シタル者  
八自己ノ所有地内ニ死屍アルヲ知テ官署ニ

申告セス又ハ之ヲ他所ニ移棄シタル者  
九密ニ賣淫ヲ為シ又ハ其宿所ヲ貸シタル者

十人ノ住居セサル家屋内ニ潜伏シタル者  
十一一定リタル住居ナク平常營生ノ産業ナク  
シテ諸方ニ徘徊スル者

十二官許ノ墓地外ニ於テ私ニ埋葬シタル者  
十三違警罪ノ犯人ヲ曲庇スル為ノ偽證シタル者  
ル者但被告人偽證ノ為メ刑ヲ免カレタル  
時ハ第二百二十一條ノ例ニ從フ

第四百二十六條 左ノ諸件ヲ犯ス者ハ二日以  
上五日以下ノ拘留ニ處シ又ハ五十錢以上一  
圓五十錢以下ノ科料ニ處ス

一人家ノ近傍又ハ山林田野ニ於テ濫リニ火  
ヲ焚ク者  
二水火其他ノ變ニ際シ官吏ヨリ防禦スヘキ

ノ求メヲ受ケ傍觀シテ之ヲ肯ンセサル者  
三齋敗物其他健康ヲ害スヘキ飲食物ヲ販賣  
シタル者

四健康ヲ保護スル為メ設ケタル規則又ハ傳  
染病豫防ノ規則ニ背キタル者  
五人ノ通行スヘキ場所ニアル危険ノ井溝其  
他凹所ニ蓋又ハ防圍ヲ為サル者

六警察ノ規則ニ背キテ荷物其他水陸ノ運送  
ヲ為シタル者  
七路上ニ於テ犬其他ノ獸類ヲ嘍シ又ハ驚逸  
セシメタル者

八發狂人ノ看守ヲ怠リ路上ニ徘徊セシメタ  
ル者

九 狂犬猛獸等ノ繫鎖ヲ怠リ路上ニ放逸シタル者

十 變死人ノ檢視ヲ受スシテ埋葬シタル者  
十一 人民集會シテ官署ヨリ退散スヘキ命ニ從ハサル者

十二 人ヲ毆打シテ傷疾疾病ニ至ラサル者

第四百二十七條 左ノ諸件ヲ犯ス者ハ一日以上三日以下ノ拘留ニ處シ又ハ二十錢以上一圓二十五錢以下ノ科料ニ處ス

一 濫リニ車馬ヲ疾驅シテ行人ノ妨害ヲ為シタル者

二 制止ニ違ヒテ人ノ群集シタル場所ニ車馬ヲ牽キタル者

三 夜中無提燈ニテ車馬ヲ疾驅スル者

四 木石等ヲ道路ニ堆積シテ防圍ヲ設ケス又ハ標識ノ點燈ヲ怠リタル者

五 路上ノ常燈ヲ消シタル者

六 瓦礫ヲ道路家屋園圃ニ投擲シタル者

七 禽獸ノ死屍ヲ道路ニ棄擲シ又ハ之ヲ取除カサル者

八 汚穢物ヲ道路家屋園圃ニ投擲シタル者

九 警察ノ規則ニ背キテ工商ノ業ヲ為シタル者

十 醫師穩婆急病ノ時事故ヲクシテ人ノ招キニ應セサル者

十一 死込ノ申告ヲ為サスシテ埋葬シタル者

十二流言浮説ヲ為シテ人ヲ誑惑シタル者  
十三私有地外へ濫リニ家屋墻塀ヲ設ケ又ハ  
軒楹ヲ出シタル者

十四官許ヲ得スレテ路傍又ハ河岸ニ床店等  
ヲ開キタル者

十五路上ノ植木市街ノ常燈及ヒ厠場等ヲ毀  
損シタル者

十六道路橋梁其他ノ場所ニ榜示シタル通行  
禁止及ヒ指道標ノ類ヲ毀棄汚損シタル者

十七墓碑及ヒ路上ノ神佛ヲ毀損又ハ汚漬シ  
タル者

十八神祠佛堂其他公ノ建造物ヲ汚損シタル  
者

十九公然人ヲ罵詈嘲弄シタル者但誅ヲ待テ  
其罪ヲ論ス

第四百二十八條 左ノ諸件ヲ犯ス者ハ一日ノ  
拘留ニ處シ又ハ十錢以上一圓以下ノ科料ニ  
處ス

一 飲食物ノ分量ヲ増加スル為ノ他物ヲ混合  
シテ販賣シタル者

二 官署ヨリ價額ヲ定メタル物品ヲ定價以上  
ニ販賣シタル者

三 渡船橋梁其他ノ場所ニ於テ定價以上ノ通  
行錢ヲ貪取シ又ハ故ナク通行ヲ妨ケタル  
者

四 渡船橋梁其他通行錢ヲ拂フ可キ場所ニ於



テ其定價ヲ出サスシテ通行シタル者  
五路上ニ於テ賭博ニ類スル商業ヲ為シタル者

六妄ニ吉凶禍福ヲ説キ又ハ祈禱符咒等ヲ為シ人ヲ惑ハシテ利ヲ圖ル者

七官許ヲ得スシテ劇場其他觀物場ヲ開キ及ヒ其規則ニ背キタル者

八溝渠下水ヲ毀損シ又ハ命令ニ背キテ溝渠下水ヲ浚ハサル者

九制止ニ違フテ路傍ニ食物其他ノ商品ヲ羅列シタル者

十許可ナクシテ獸類ヲ官有地へ放チ又ハ牧養シタル者

十一身躰ニ刺文ヲ為シ及ヒ之ヲ業トスル者

十二他人ノ繫キタル牛馬其他ノ獸類ヲ解放シタル者

十三他人ノ繫キタル舟筏ヲ解放シタル者

第四百二十九條 左ノ諸件ヲ犯ス者ハ五錢以

上五十錢以下ノ科料ニ處ス

一橋梁又ハ堤防ノ害ト為ルヘキ場所ニ舟筏ヲ繫キタル者

二牛馬諸車其他物件ヲ道路ニ横タヘ又ハ木石薪炭等ヲ堆積シテ往來ノ妨ケヲ為シタル者

三車馬ヲ並ヘ牽テ人ノ通行ヲ妨ケタル者

四水路ニ於テ舟ヲ並ヘテ通船ノ妨ケヲ為シ

タル者

五氷雪塵芥等ヲ路上ニ投棄シタル者

六道路ノ掃除ヲ怠リタル者

七制止ニ違ヒテ路上ニ遊戯ヲ為シ往來ヲ妨ケタル者

八牛馬ヲ牽キ又ハ繋クコトヲ忽カセニシテ行人ノ妨害ヲ為シタル者

九出入ヲ禁止シタル場所ニ妄リニ出入シタル者

十通行留ノ揭示ヲ犯シテ通行シタル者

十一道路ニ於テ放歌高聲ヲ發シ官吏ノ制止ヲ肯ンセサル者

十二酩酊シテ路上ニ喧噪シ又ハ醉臥シタル者

者

十三人家ノ牆壁ニ貼紙及ヒ樂書シタル者

十四邸宅ノ番號標札招牌又ハ貸家賣家ノ貼紙其他報告ノ榜標等ヲ毀損シタル者

十五他人ノ田野園圃ニ於テ菜菓ヲ採食シ又ハ花卉ヲ折採シタル者

十六公園ノ花卉ヲ折採シ又ハ其規則ヲ犯シタル者

十七通路ナキ他人ノ田畝ヲ通行シ又ハ牛馬ヲ牽入レタル者

十八無檢印ノ度量衡ヲ商業上ニ使用シタル者

第四百三十條 各地方ノ便宜ニヨリ施行スル

所ノ違警罪目ニ違背シタル者ハ犯情ノ輕重  
ニ從ヒ一日以上十日以下ノ拘留ニ處シ又ハ  
五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス



